浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2024 年 4 月期調査結果（2024 年 6 月発表分）

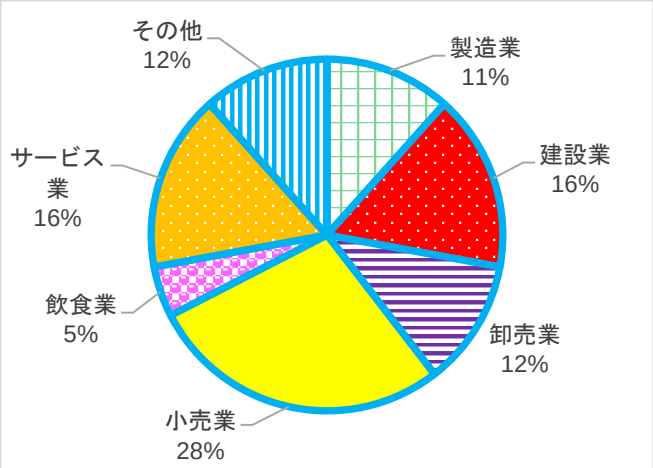
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023 年度景気ウォッチャー調査員（69 名）を対象に、ＷＥＢアンケート調査を行いました。

回答者数は 43 名（回答率は 62.3%）

業種	回答者数	構成比
製造業	5	11.6%
建設業	7	16.3%
卸売業	5	11.6%
小売業	12	27.9%
飲食業	2	4.7%
サービス業	7	16.3%
その他	5	11.6%
計	43	100%

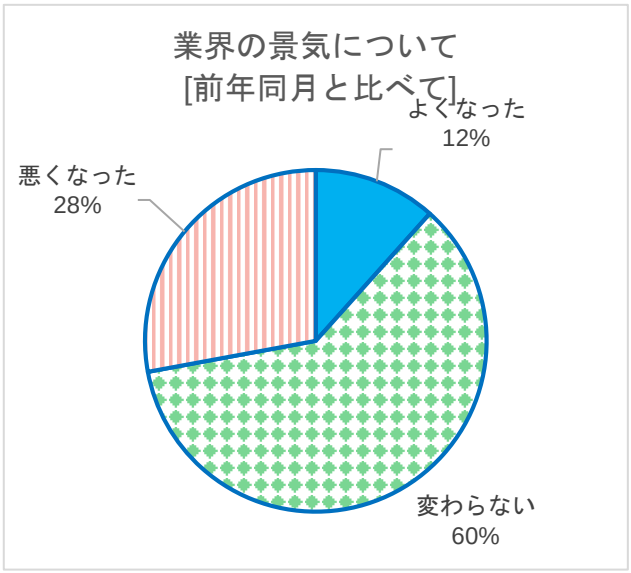


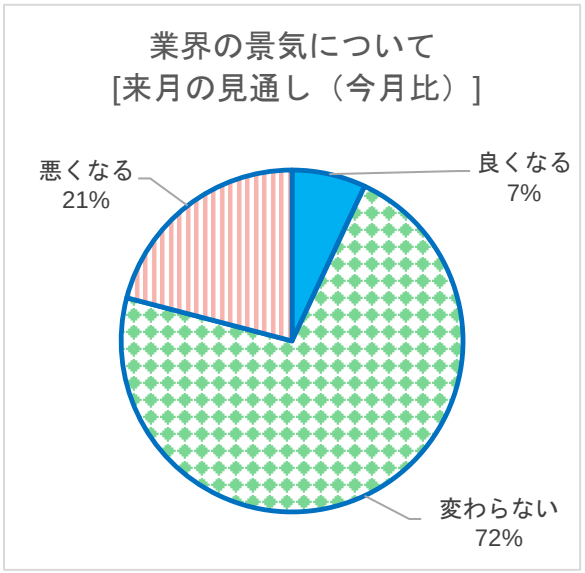
調査結果のポイント

＜景況＞

・2024 年 4 月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が 11.6%、「変わらない」が 60.5%、「悪くなった」が 27.9%となりました。

・2024 年 5 月以降の見通しについて、4 月と比較して、「よくなる」が 7.0%、「変わらない」が 72.1%、「悪くなる」が 20.9%となりました。

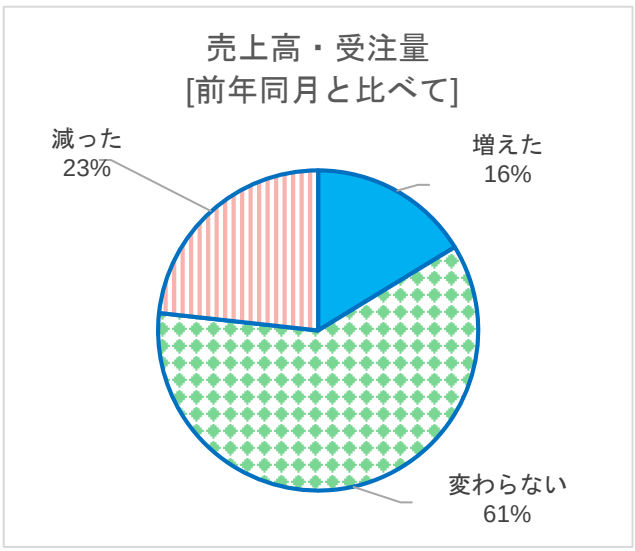


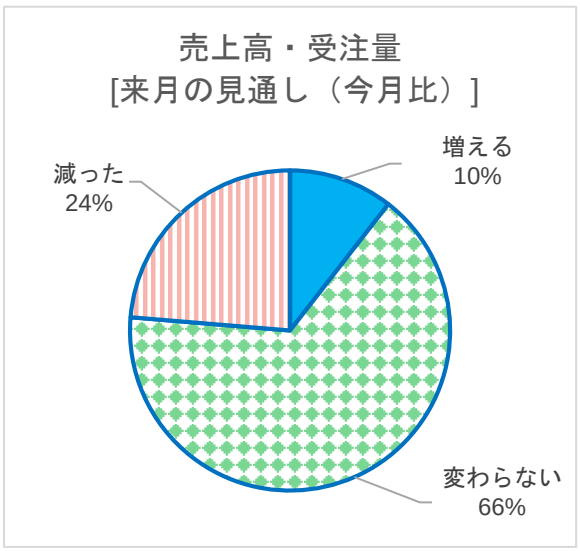


＜売上高・受注＞

・2024 年 4 月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」16.3%、「変わらない」が 60.5%、「減った」が 23.3%となりました。

・2024 年 5 月以降の見通しについて、4 月と比較して、「増える」が 14.0%、「変わらない」が 62.8%、「減る」が 23.3%となりました。





【景気動向 DI（毎月版）】

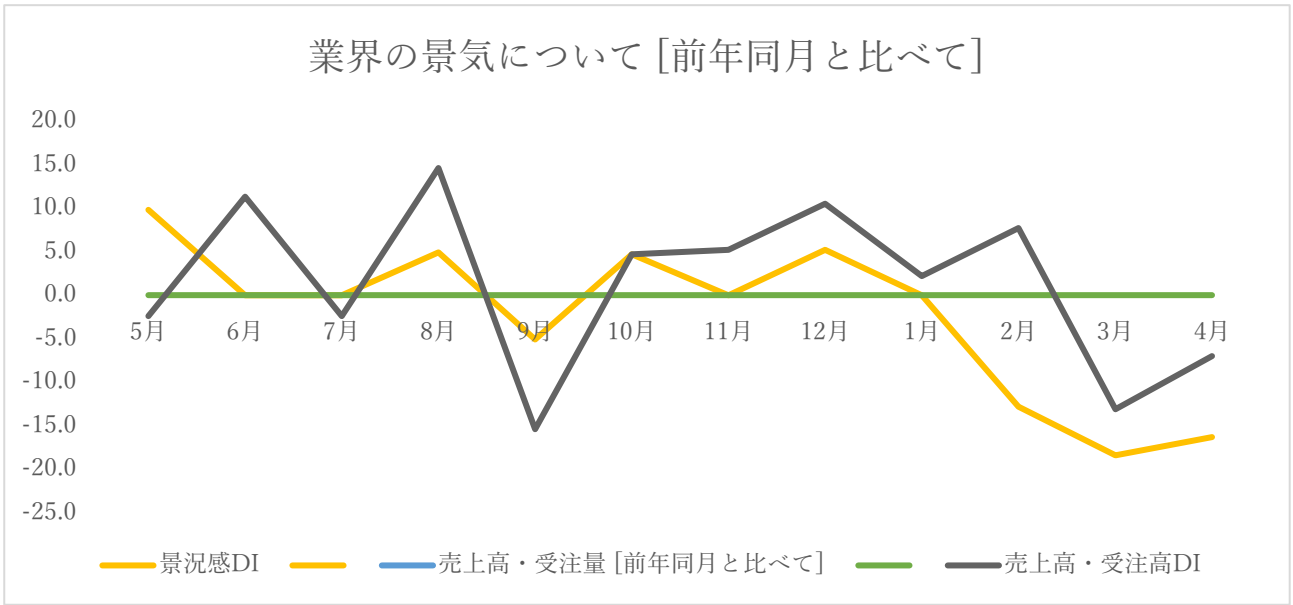
＜概要＞

景気ウォッチャー調査員 69 名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高の DI 値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0 より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

2023 年 5 月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。

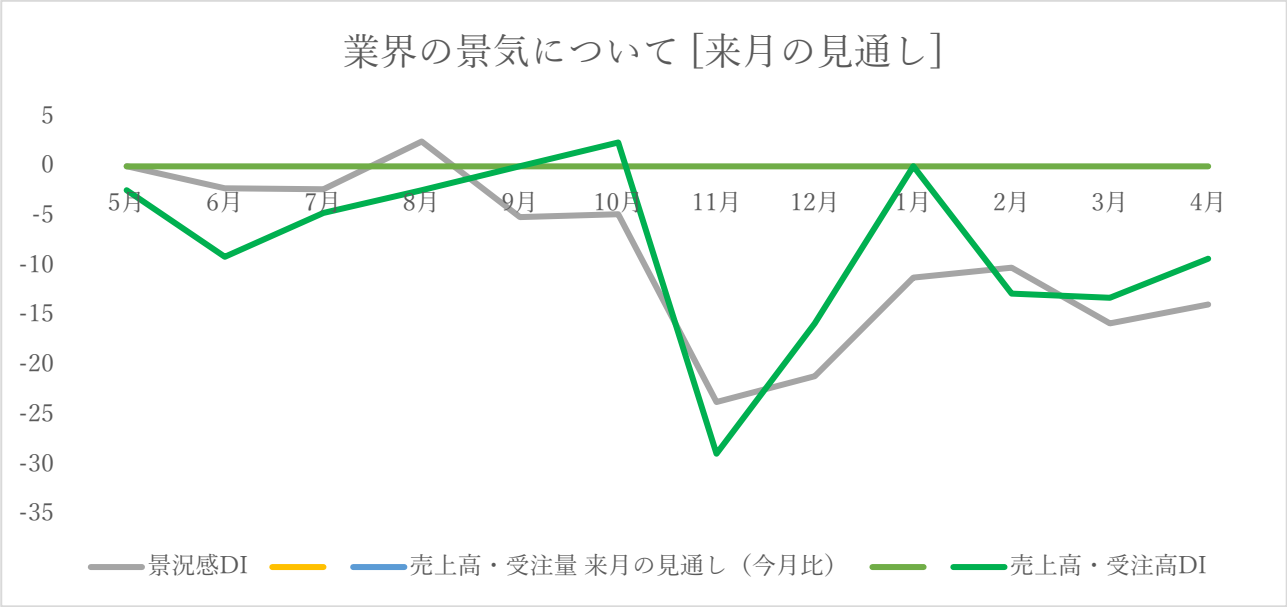


	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
景況感DI	9.8	0.0	0.0	4.9	-5.1	4.7	0.0	5.2	0.0	-12.8	-18.4	-16.3

売上高・受注量［前年同月と比べて］

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
売上高・受注高DI	-2.4	11.3	-2.4	14.6	-15.4	4.7	5.2	10.5	2.2	7.7	-13.1	-7.0

2023 年 5 月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
景況感DI	0	-2.2	-2.3	2.5	-5.1	-4.8	-23.7	-21.1	-11.2	-10.2	-15.8	-13.9

売上高・受注量 来月の見通し（今月比）

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
売上高・受注高DI	-2.4	-9.1	-4.7	-2.4	0.0	2.4	-28.9	-15.8	0.0	-12.8	-13.2	-9.3

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
鉄骨工事業	全体的に建設関係の案件が少ないため、価格競争が激しくなっている。
自動車(小・修)	明らかに新卒需要が減った感じがある。
ピアノ・オルガン部品(製・卸)	ピアノ業界は中国の影響を受けており、脱中国に向けて各社必死である。
税理士	４月に大企業を中心に大幅の昇給がされたが、中小企業は昇給できる状態ではないため、人材確保が懸念される。
建築工事業	2024 年 4 月からの残業規制問題。
建築工事業	来年４月の建築基準法・省エネ法改正施行を受けて、小規模な工務店や設計事務所は廃業も検討しているという話を聞く。
鋳材(卸)	地元の工作機械メーカーの受注減。
警備業	警備業界でも人財不足。そのため、外国人の雇用が積極的に検討されている。
社会保険労務士	中小企業の賃上げ率について、当初の目標設定より低めの傾向が見られた。

自動車タイヤ(小)	ミシュラン、コンチネンタルといった海外メーカーは相次いで値上げをしているのに、国内メーカーが値上げをしないのは、国内メーカーの業績が良いこともあるかもしれませんが、国内の市場価格が限界に来ているとメーカーも感じているからだと思う。
楽器(製)	物価の高騰。
社会保険労務士	今年度は運送業等の残業規制に始まり、６月定額減税、10 月社保適用の拡大、12 月健康保険証廃止が予定されており、その都度対応に追われることになる。
広告制作業	人材不足。
サッシ・ドア(製)	住宅も箱物も建築全体に元気がない状態が続いている。
木製家具(製)	三月までの年度末決算で忙しかったが減少傾向。連休明けの受注状況が不安。
電気機械器具（小）	故障しなければ商品の購入に繋がらない傾向が強い。
事業協同組合(青果)	暑さによる野菜、果物の痛みが心配である。
事業協同組合(石油)	"ガソリンの販売数量及びマージンは前年並みだった。
事業協同組合(機械)	中小企業の実質賃金が上がらなくての物価高、生活が困窮。
事業協同組合(鉄)	人手不足は深刻。鉄工団地は仕事の受注は増えている人・会社が多く、工場・用地または貸工場を探している会社が数社ある。駐車場用地も不足している。
事業協同組合(鍍金)	製品価格にコスト増が転嫁できない。
花・植木(小)	消費者にゆとりが無い。
居酒屋	浜松祭りが普通に開催され、街中が賑わいをみせると思われる。
木製家具(製)	受注価格の低下。
燃料(小)	商品・部品全般にわたり値上げが続いているが、中には極端に値上げされているものがあり、お客様への説明に苦慮する場合がある。
①新型コロナウイルス感染症の影響 ②物価高騰・円安の影響 ③インボイス制度への対応 ④ダイハツ問題⑤その他	
税理士	②為替相場の変動が顕著となり、顧客への影響が危惧される。
事業協同組合(機械)	②異常な円高、諸物価が景気上昇でなく上がっている。
スポーツ用品(小)	②円安と物価高騰の二重苦で大きな打撃を受ける。メーカーが定価を上げているが、販売価格にそのまま上乗せすることが出来ないので、利幅が少なくなってしまうため、経営が苦しい。
木製品(製)	②円安の影響が大きい。
居酒屋	②円安の影響を受け、野菜や肉等の仕入れの高騰が厳しい。
事業協同組合(鉄)	"②円安の影響で海外からの労働者は極端に減っている。また国内でも時給1000 円ではハローワークに募集を出しても問い合わせなし。
ピアノ・オルガン部品(製・卸)	②円安の影響により輸入品の価格高騰が止まらない。
事業協同組合(ものづくり)	②更なる円安は進むことによる原材料費の高騰が懸念される。
木製家具(製)	②材料の高騰にによる原価の圧迫。
楽器(製)	②物価の高騰は止まらないし、終わる気配もない。一度上がると簡単には下がらないので頭が痛い。円安の影響もあり、なかなか厳しい。売上は戻ってきているが利益が増えてこない。
楽器（小）	②物価高の影響で物を仕入れる度に値上げしている。
ディスプレイ業	②物価高騰（仕入れ材料）がまた目立ってきた。

建築工事業	②物価高騰・円安の影響。
資材（卸）	②物価高騰・円安の影響・２０２４年問題での運送費の影響。
鋳材(卸)	②物価高騰・円安の影響で製造業は受注減。
鉄骨工事業	②物価高騰により、製造コスト増の見込みです。
電気機械器具（小）	②物価高騰の影響で、お客様の購入意欲は弱い。
木製家具(製)	②物価高騰は変わらず売上はあがらない。
自動車(小・修)	④ダイハツの製造は全て再開されたが、先に今までの受注残があるので、まだまだ供給不足感が否めない。
社会保険労務士	⑤6 月からの給与計算は所得税の月次減税が煩わしい。
税理士	⑤インボイスは今のやり方がいいのか？税務署の対応がイマイチわからないので、経理担当者も困っている。価格転嫁の進め方で困っている経営者が多い。
警備業	⑤警備業界でも、外国人の雇用が積極的に検討されている。
事業協同組合(鍍金)	⑤世界情勢の影響は変化なかった。

以　上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2024 年 5 月期調査結果（2024 年 7 月発表分）

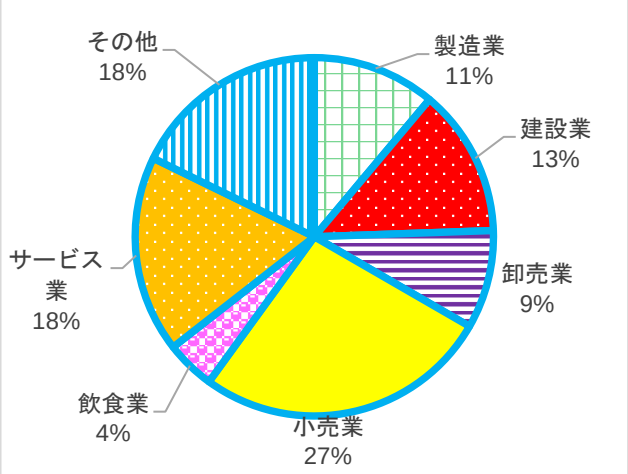
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024 年度景気ウォッチャー調査員（69 名）を対象に、ＷＥＢアンケート調査を行いました。

回答者数は 45 名（回答率は 65.2%）

業種	回答者数	構成比
製造業	5	11.1%
建設業	6	13.3%
卸売業	4	8.9%
小売業	12	26.7%
飲食業	2	4.4%
サービス業	8	17.8%
その他	8	17.8%
計	45	100%

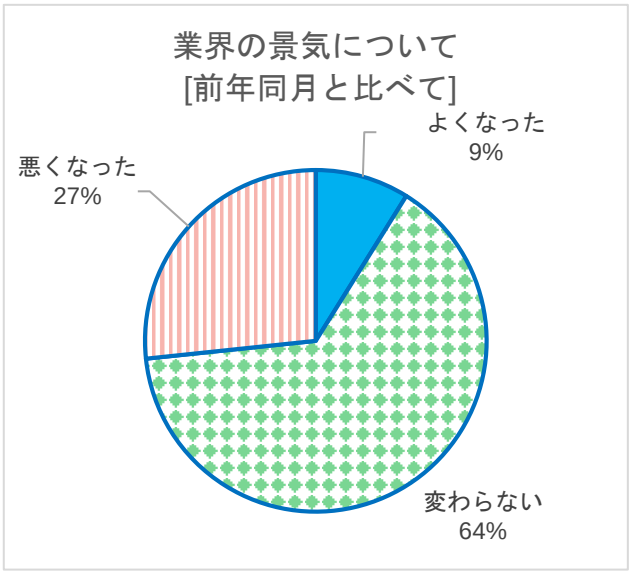


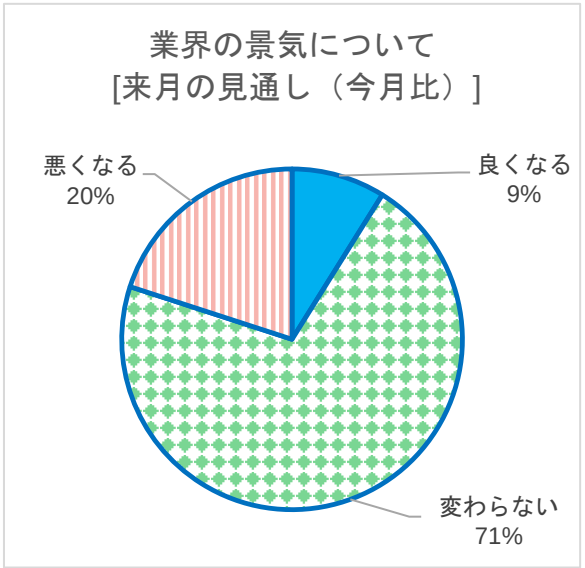
調査結果のポイント

＜景況＞

・2024 年 5 月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が 8.9%、「変わらない」が 64.4%、「悪くなった」が 26.7%となりました。

・2024 年 6 月以降の見通しについて、5 月と比較して、「よくなる」が 8.9%、「変わらない」が 71.1%、「悪くなる」が 20.0%となりました。

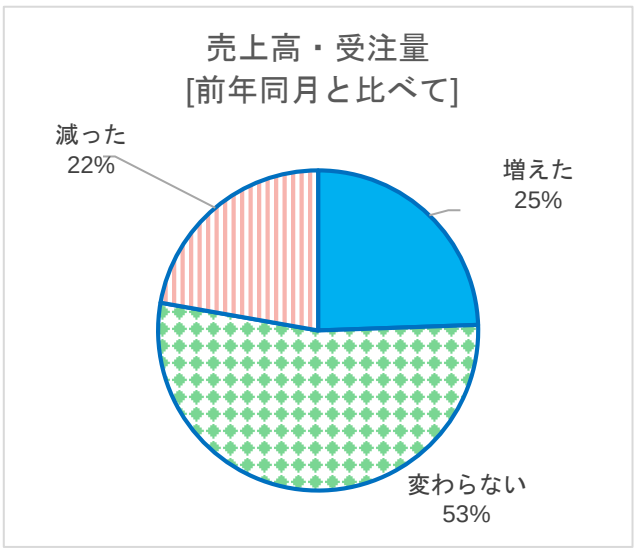


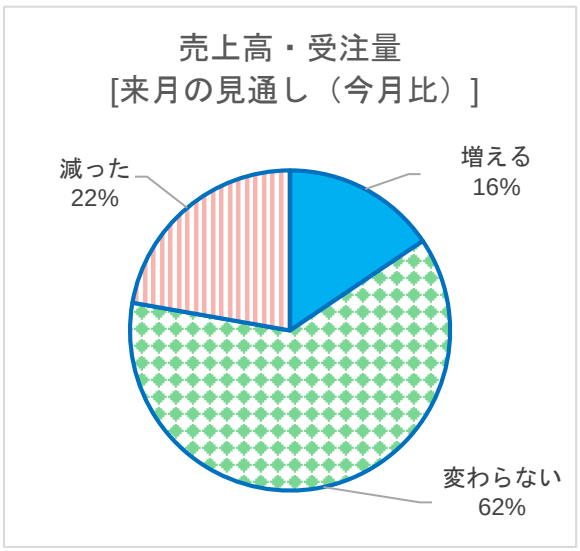


＜売上高・受注＞

・2024 年 5 月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」24.4%、「変わらない」が 53.3%、「減った」が 22.2%となりました。

・2024 年 6 月以降の見通しについて、5 月と比較して、「増える」が 15.6%、「変わらない」が 62.2%、「減る」が 22.2%となりました。





【景気動向 DI（毎月版）】

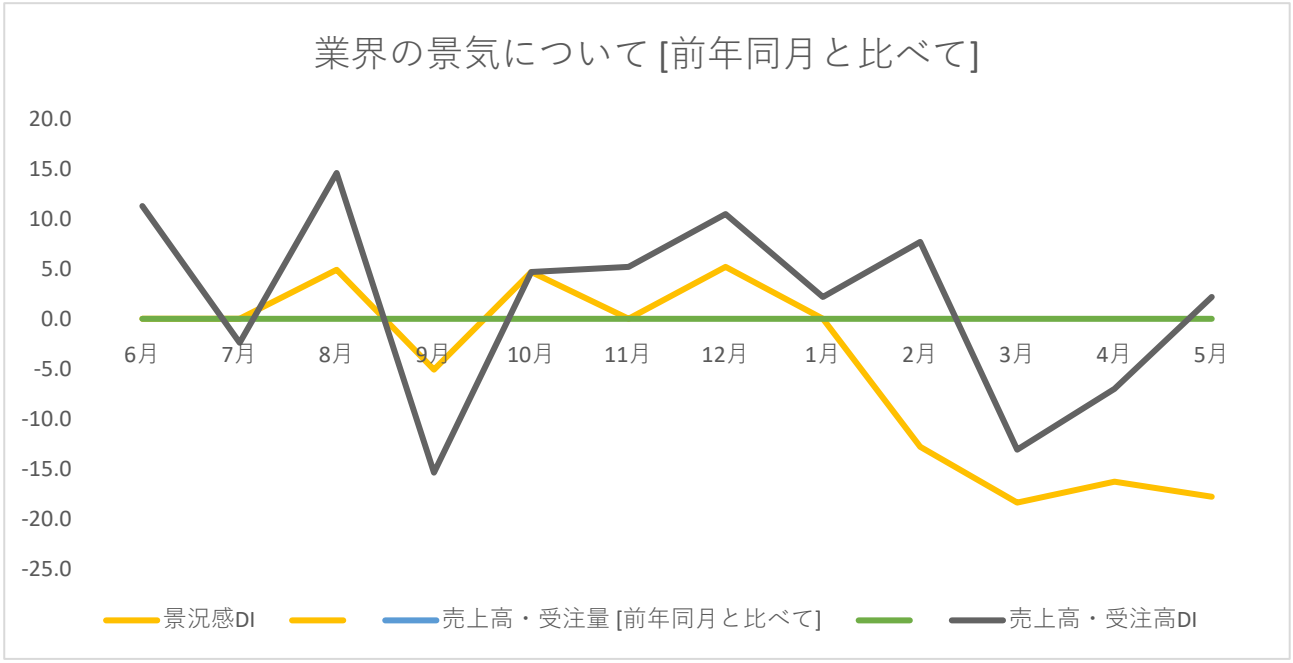
＜概要＞

景気ウォッチャー調査員 69 名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高の DI 値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0 より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

2023 年 6 月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。

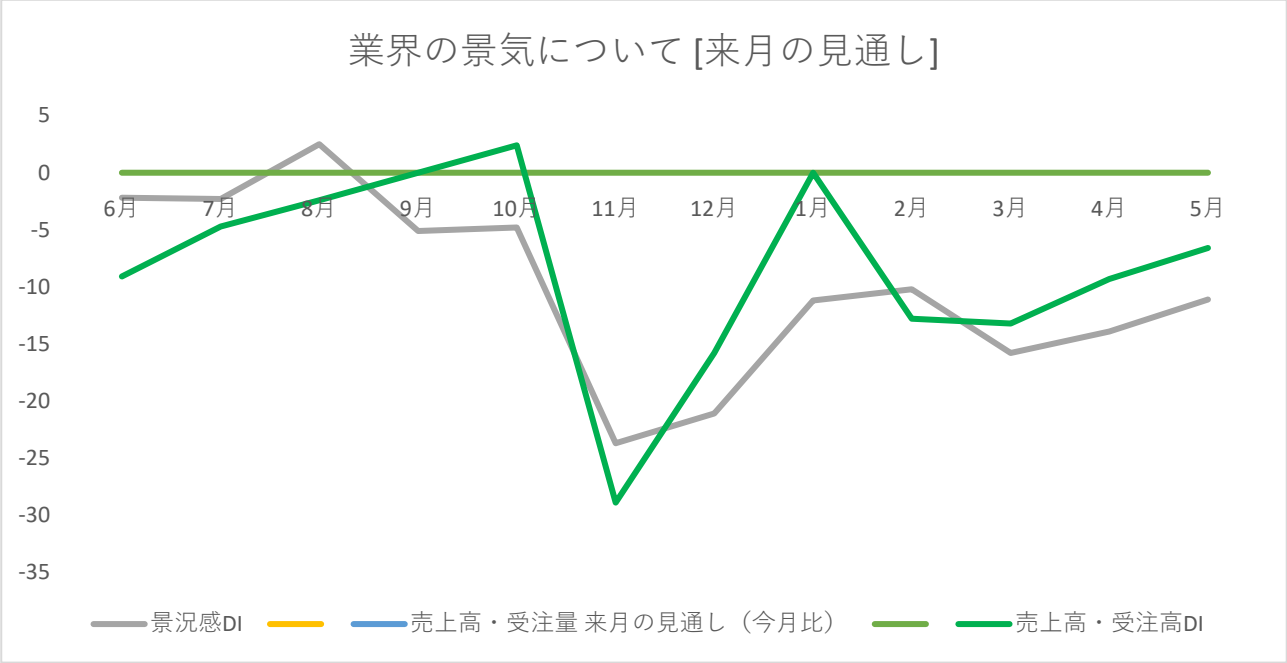


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
景況感DI	0.0	0.0	4.9	-5.1	4.7	0.0	5.2	0.0	-12.8	-18.4	-16.3	-17.8

売上高・受注量［前年同月と比べて］

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上高・受注高DI	11.3	-2.4	14.6	-15.4	4.7	5.2	10.5	2.2	7.7	-13.1	-7.0	2.2

2023 年 6 月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
景況感DI	-2.2	-2.3	2.5	-5.1	-4.8	-23.7	-21.1	-11.2	-10.2	-15.8	-13.9	-11.1

売上高・受注量 来月の見通し（今月比）

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上高・受注高DI	-9.1	-4.7	-2.4	0.0	2.4	-28.9	-15.8	0.0	-12.8	-13.2	-9.3	-6.6

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
鉄骨工事業	業界としての仕事量が少ないため、価格競争が激しくなっている。
自動車(小・修)	ダイハツ車の生産が復活して少しずつでも、落ち込んだ車両販売が復調することを願う。
鋳材(卸)	工作機械業界の低迷している。
税理士	太陽光の補助金について。
祭用品(小)	"業界全体にコロナ後の需要は増えてきたが生産（供給）が間に合わない。
自動車タイヤ(小)	ミシュランやコンチネンタルといった海外メーカーは今年に入って値上げをしている。国内メーカーが海外での成績が良いにも関わらず値上げを発表していないのは、国内市況の悪さを反映している。
税理士	インボイスと定額減税の問い合わせが多くなった。

警備業	東名高速道路のリフレッシュ工事など工事が大型化している。そのため、地域の警備会社だけでは請け負いきれず、他県の警備会社が静岡県に多く参入している。
楽器(製)	6月で浜名湖花博も終わってしまい、浜松での大きなイベントがない。
社会保険労務士	6月から減税しないと税法上の罰則はないが労基法違反になる言う。税理士だけに任せないで社労士も周知・指導に努めろということなのか。
経営コンサルタント	インバウンド客が西部地域に来ない感じがする。
茶(加・小)	茶業は新茶が一段落したが、生産者も販売者も二極化がより進む。高級志向か低価格帯の量産か、作り手によって相場が大きく割れた年となった。
広告制作業	人材不足を感じる。
サッシ・ドア(製)	はっきりとした原因はわからないが、仕事量が少ない。一部の方はリーマン前の感じに似ていると言っている。
電気機械器具（小）	夏商戦に入ったが、エアコンの動きは鈍い。暑い夏の到来を望む。
事業協同組合(青果)	野菜高騰による売り上げの減少。
事業協同組合(石油)	ガソリンの販売数量は、ゴールデンウィークの公共交通機関利用増などが影響し、前年同月比で減少した。 本年４月末までのガソリン等への補助金は、当面同じ仕組みで継続されることになった。 しかしながら期限が明確ではなく、また原油高・円安傾向が続いているため、今後について懸念される。
事業協同組合(鉄)	倉庫、工場用地が不足している。
事業協同組合(ものづくり)	人件費の高騰が懸念。
事業協同組合(鍍金)	産業廃棄物処理価格も値上要求されいる。
居酒屋	浜松祭りの後は街中に人が出ない。雨や台風の報道の影響により、人が出ない。
塗料卸売業	人材不足を感じる。
燃料(小)	ＬＰガスの商慣行是正を目的とする省令改正が交付され、7月から一部が施行される。業界の健全化に期待する一方で、難しい対応を迫られる局面も想定され、不安が募るばかりである。
資材（卸）	２０２４問題の影響が出始めている。
①新型コロナウイルス感染症の影響 ②物価高騰・円安の影響 ③インボイス制度への対応 ④ダイハツ問題⑤その他	
楽器(製)	①コロナの感染は普通に発生しているように感じるが、以前のような混乱は起きる気配はない。
事業協同組合(鉄)	①新型コロナは沈静化したと思っていたが近隣の金融機関でクラスターが発生してたいた。
自動車タイヤ(小)	②インフレがかなり進行していて、色々なものがかなり値上がりし、賃上げしても追いつかない。
茶(加・小)	②お茶のニーズは、ランクを落とす傾向が加速。日常や会社利用、おもてなし用まで総額を下げる傾向が目立った。
鉄骨工事業	②運搬費の価格転嫁によって、取引業者の値上げ申し出が多い。
木製品(製)	②円安が進み、更なる原材料の値上げが心配。
警備業	②警備業は、公安委員会に届け出をした制服を着用しなければいけない。その制服の購入単価が以前の１．４倍ぐらいになっている。
事業協同組合(鍍金)	②原料価格の高止まり、エネルギー価格の高騰。

木製家具(製)	②材料高騰による原価の圧迫。
木製家具(製)	②物価は上がるが、賃金は増えていかない。
資材（卸）	②物価高騰・円安の影響が強く、メーカーよりさらなる値上要請が始まる。
電気機械器具（小）	②物価高騰で、電化製品の替え替えサイクルが、長くなっている。
同業団体(商業)	②物価高騰で買い物を控えていると言う話しをよく耳にする。
実業団体(税務)	②物価高騰により諸経費が高騰している。本年度から年会費の値上げを実施。
電気めっき業	⑤2024 年問題による影響。
税理士	⑤6 月支給分からスタートする定額減税の事務負担増が懸念されます。また社員への周知徹底も事業所によって温度差が感じられます。
社会保険労務士	⑤定額減税により、総務事務業務の負担が増加した。年末に向け、対策を立てたい。
社会保険労務士	⑤年金事務所が社会保険の適用拡大対象となる会社を回っているらしいが、保険料の負担増を懸念して労使共に労働時間を減らす方向で対応するケースも多い。

以　上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2024 年 6 月期調査結果（2024 年 8 月発表分）

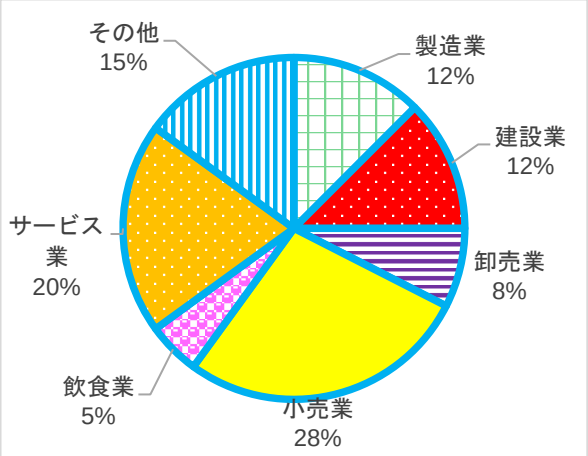
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024 年度景気ウォッチャー調査員（69 名）を対象に、ＷＥＢアンケート調査を行いました。

回答者数は 40 名（回答率は 57.9%）

業種	回答者数	構成比
製造業	5	12.5%
建設業	5	12.5%
卸売業	3	7.5%
小売業	11	27.5%
飲食業	2	5.0%
サービス業	8	20.0%
その他	6	15.0%
計	40	100%

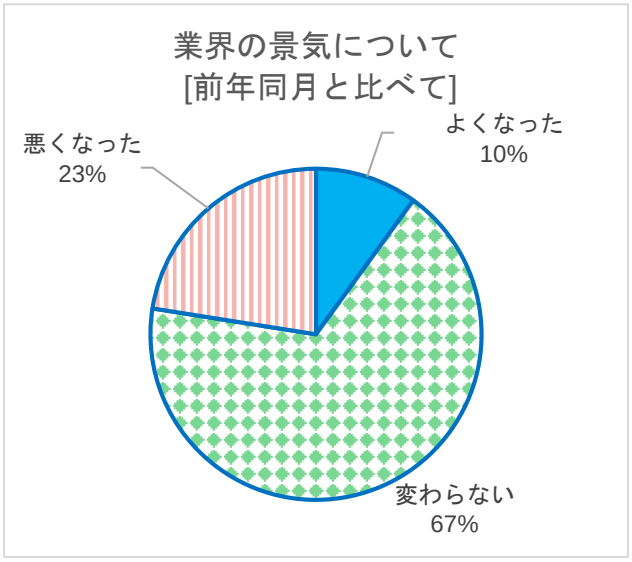


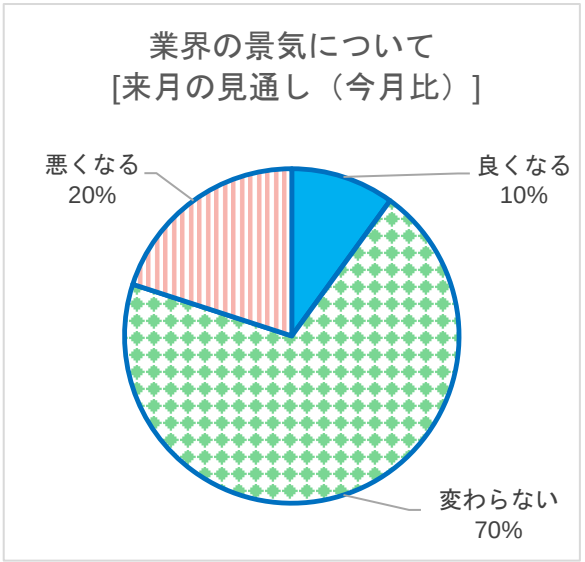
調査結果のポイント

＜景況＞

・2024 年 6 月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が 10.0%、「変わらない」が 67.5%、「悪くなった」が 22.5%となりました。

・2024 年 7 月以降の見通しについて、6 月と比較して、「よくなる」が 10.0%、「変わらない」が 70.0%、「悪くなる」が 20.0%となりました。

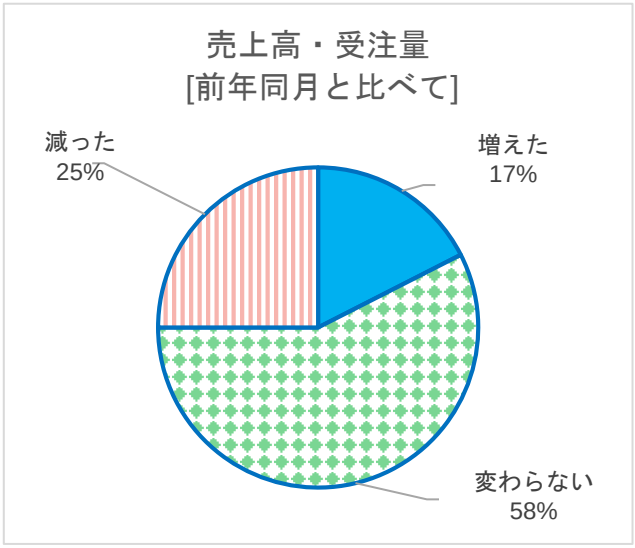


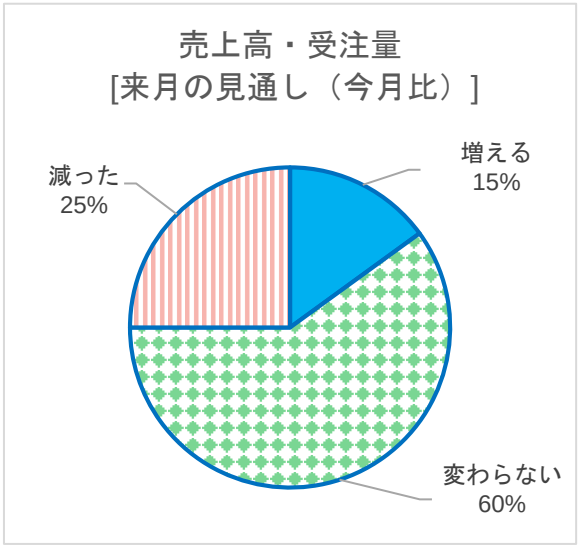


＜売上高・受注＞

・2024 年 6 月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」17.5%、「変わらない」が 57.5%、「減った」が 25.0%となりました。

・2024 年 7 月以降の見通しについて、6 月と比較して、「増える」が 15.0%、「変わらない」が 60.0%、「減る」が 25.0%となりました。





【景気動向 DI（毎月版）】

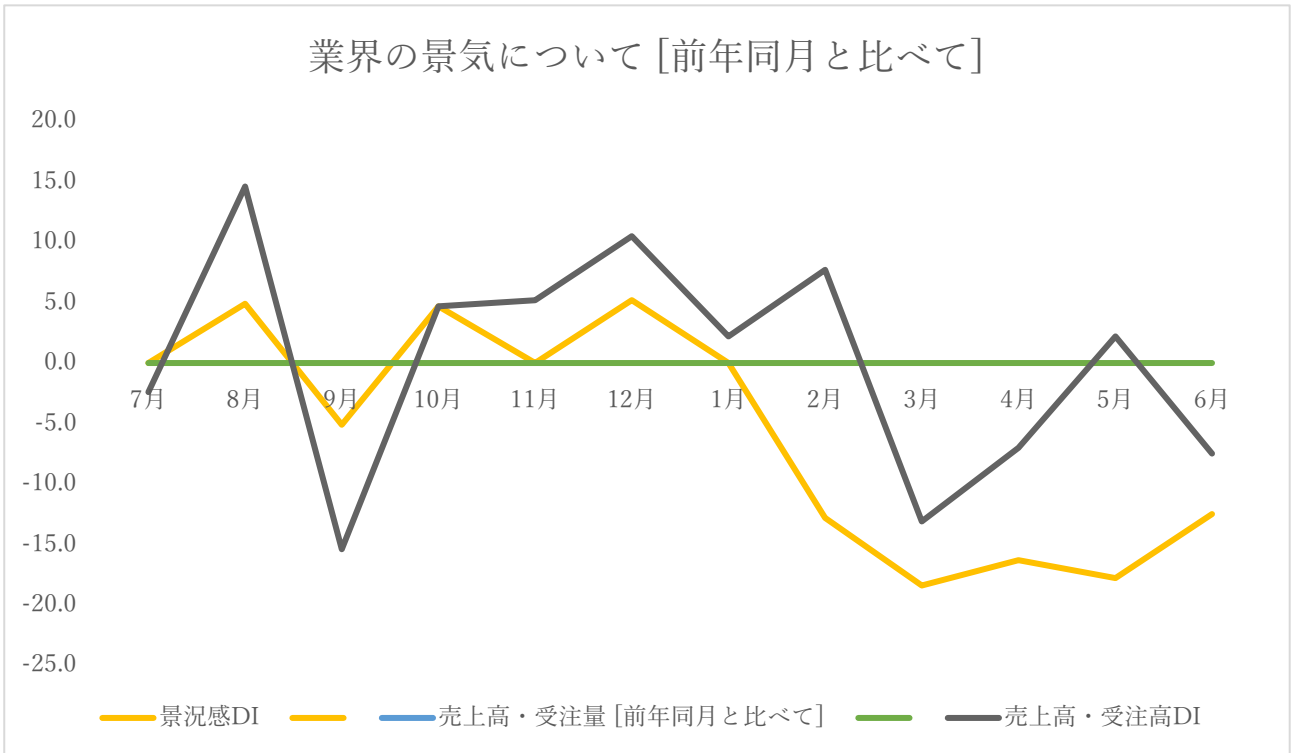
＜概要＞

景気ウォッチャー調査員 69 名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高の DI 値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0 より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

2023 年 7 月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。

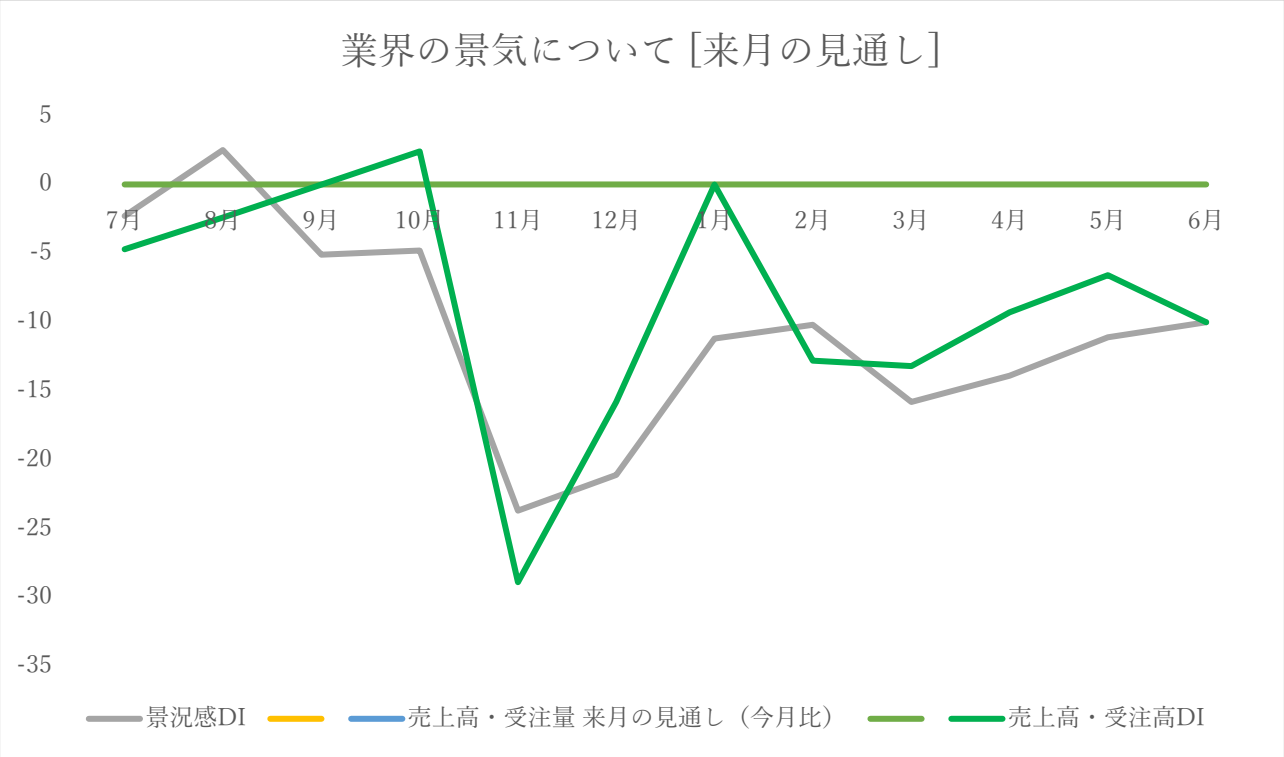


	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
景況感DI	0.0	4.9	-5.1	4.7	0.0	5.2	0.0	-12.8	-18.4	-16.3	-17.8	-12.5

売上高・受注量［前年同月と比べて］

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高・受注高DI	-2.4	14.6	-15.4	4.7	5.2	10.5	2.2	7.7	-13.1	-7.0	2.2	-7.5

2023 年 7 月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
景況感DI	-2.3	2.5	-5.1	-4.8	-23.7	-21.1	-11.2	-10.2	-15.8	-13.9	-11.1	-10

売上高・受注量 来月の見通し（今月比）

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高・受注高DI	-4.7	-2.4	0.0	2.4	-28.9	-15.8	0.0	-12.8	-13.2	-9.3	-6.6	-10

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
建築工事業	浜松市では木造住宅の耐震補強助成金の補助枠が埋まってしまい、今年度補正予算で追加枠を設けるかは不透明で、今年は耐震補強工事が伸び悩む可能性がある。
化粧品(小)	小売店の減少
税理士	補助金による需要拡大
自動車タイヤ(小)	海外メーカー品の値上げと品薄状態が続いている。 国内品はもともと売上が芳しくない中、これ以上値上げが続けば死活問題となる。
警備業	外国人雇用に向けての協議が加速している。
税理士	人手不足と賃上げは中小企業の死活問題。

社会保険労務士	専業自動車整備業界の高齢化、人材不足が深刻。整備の件数及び売上が低下傾向にある。
楽器(製)	コロナも収まり、団体の工房見学も少しずつ戻ってきているが、人数が多すぎて受け入れられないケースが増えてきている。
社会保険労務士	給料計算業務での定額減税対応が増えた。
経営コンサルタント	浜松に来るインバウンド客が少ない。
ディスプレイ業	細かな受注はあるが、大きな受注が無い為、売上、利益が上がらない。次月も同様の見込み。
茶(加・小)	茶業・抹茶の需要が増加中。抹茶と煎茶は木が同じでも栽培方法と製造方法が異なる。煎茶は作り手が多いが、抹茶は作り手が少ない。しかしながら、製造ラインを新たに組む程の、ゆとりがある中小企業がいないのが現状。
広告制作業	人手不足が深刻
サッシ・ドア(製)	引き続き受注量、売上が悪い。同業他社も同様。過去一番悪い。
家庭電化製品(販)	エアコンの動きが活発になってきた。
事業協同組合(青果)	最近、野菜が高騰している為、仕入れに苦労するという声がある。
事業協同組合(石油)	ガソリンの販売数量は曜日回りと天気が安定していたため、前年並であった。 ガソリン等への補助金は、年内は継続されることになった。しかしながら出口戦略は明確ではなく、原油高・円安傾向が続いているため、今後について懸念される。
事業協同組合(機械)	人手不足と賃金の上昇を図らないといけないが先行き不安である。
事業協同組合 (ものづくり)	人手不足が深刻
事業協同組合(鍍金)	原材料費・エネルギー価格の高騰
塗装（卸）	税金の上昇
燃料(小)	政府は「酷暑乗り切り緊急支援」として８月より３ヶ月間電気・都市ガスの補助金を再開する。電気は理解できるが、夏場は消費量が少なくなる都市ガスも対象とするのは理解に苦しむ。補助対象はＧＨＰ（ガスヒートポンプエアコン）利用者に限定すべきだと思う。
電気めっき業	景気の好転を伴わない賃上げの風潮、進まない価格転嫁
資材（卸）	メーカー直販や大手のネット販売により年々、価格競争や失注に繋がっている。
建築設計業	市役所発注物件で、設計業務の発注が今年度は増えている傾向にある。工事に関しても設備工事関係の発注が多く、発注数に対して施工業者数が少ない状況にある。
茶(加・小)	客単価は上がったが、来店数の減少が止まらない。お客様は無駄に足を運ばなく、ついで買いもみられない。
事業協同組合 (ものづくり)	異常気象（豪雨、気温の上昇等）

業種区分	行政・商工会議所への要望・その他連絡事項
化粧品(小)	店舗改装に使用できる補助金があると嬉しい。
楽器(製)	実用性の高い助成金・補助金があると嬉しい。
広告制作業	人材紹介、ビジネスマッチング
事業協同組合(機械)	若手の人材を募集したいがうまくマッチング出来ない。
資材（卸）	商工会議所でポイント発行などの施策があると嬉しい。

①新型コロナウイルス感染症の影響　②物価高騰・円安の影響 ③インボイス制度への対応　④ダイハツ問題　⑤その他	
ディスプレイ業	①７月に入り周囲でコロナ感染者が目立つようになった。
楽器(製)	②影響が大きく、今まで値上げせず頑張ってきたが具体的に値上げの時期や数字を考えるようになった。
家庭電化製品(販)	②素材の値上りで、高価格帯の商品が売れない。
事業協同組合(機械)	②物価高騰に加え金融機関の貸出金利が上がってくるのではないかと不安である。材料費、エネルギー価格も含め売上は横ばいであるが利益率は下がっている。
事業協同組合(鍍金)	②円安の影響が原材料や燃料費に重くのしかかっている。
木製家具(製)	②物価高騰による材料費の上昇により原価が高騰している。
資材（卸)	②円安の影響からメーカーより値上げの要請が増加している。
税理士	③インボイス、電子帳簿保存法への対応も一息ついたが、各事業所での処理が適正に行われているか心配している。
電気めっき業	④自動車メーカーの不正で生産量が減少している。
自動車タイヤ(小)	⑤外国人観光者増に伴い、オーバーツーリズムとなっている観光地の警備員配置が増加している。
家庭電化製品(販)	⑤古い住宅で、アスベスト対策を講じているとは思えない事例が幾つかある。

以　上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2024 年 7 月期調査結果（2024 年 9 月発表分）

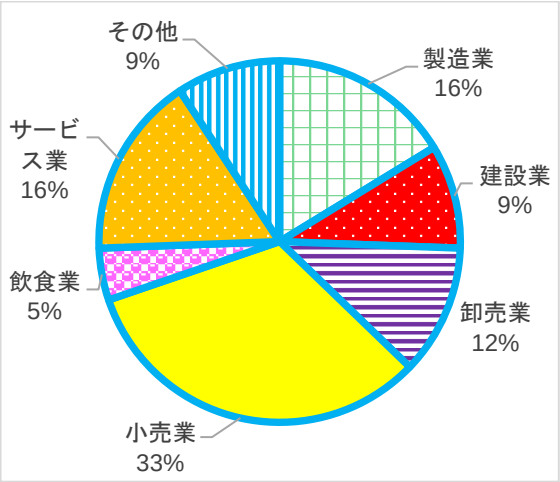
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024 年度景気ウォッチャー調査員（69 名）を対象に、ＷＥＢアンケート調査を行いました。

回答者数は 43 名（回答率は 62.3%）

業種	回答者数	構成比
製造業	7	16.3%
建設業	4	9.3%
卸売業	5	11.6%
小売業	14	32.6%
飲食業	2	4.7%
サービス業	7	16.3%
その他	4	9.3%
計	43	100%

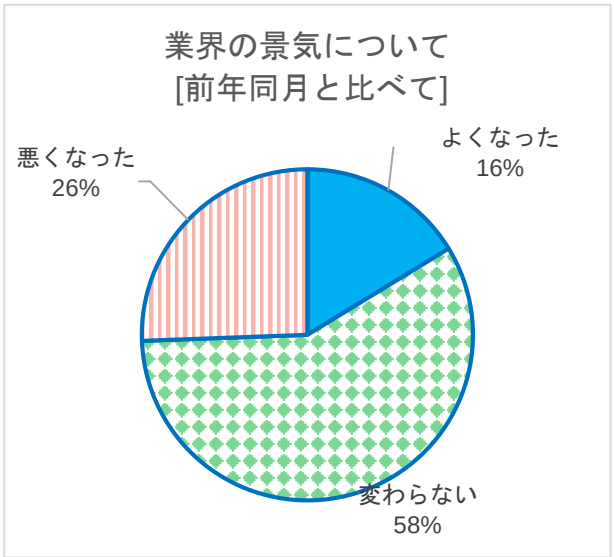


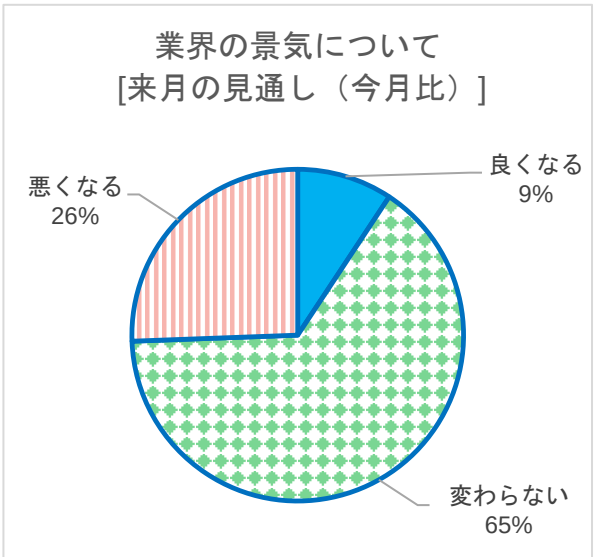
調査結果のポイント

＜景況＞

・2024 年 7 月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が 16.3%、「変わらない」が 58.1%、「悪くなった」が 25.6%となりました。

・2024 年 8 月以降の見通しについて、7 月と比較して、「よくなる」が 9.3%、「変わらない」が 65.1%、「悪くなる」が 25.6%となりました。

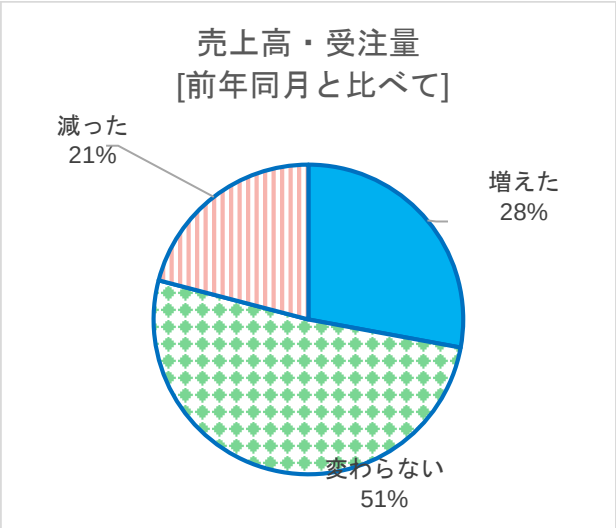


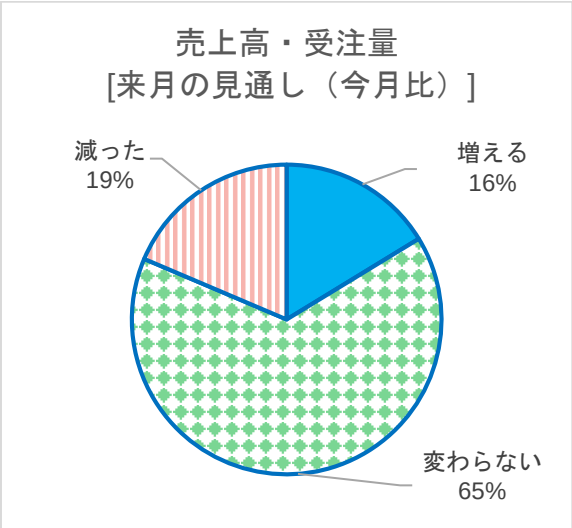


＜売上高・受注＞

・2024 年 7 月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」27.9%、「変わらない」が 51.2%、「減った」が 20.9%となりました。

・2024 年 8 月以降の見通しについて、7 月と比較して、「増える」が 16.3%、「変わらない」が 65.1%、「減る」が 18.6%となりました。





【景気動向 DI（毎月版）】

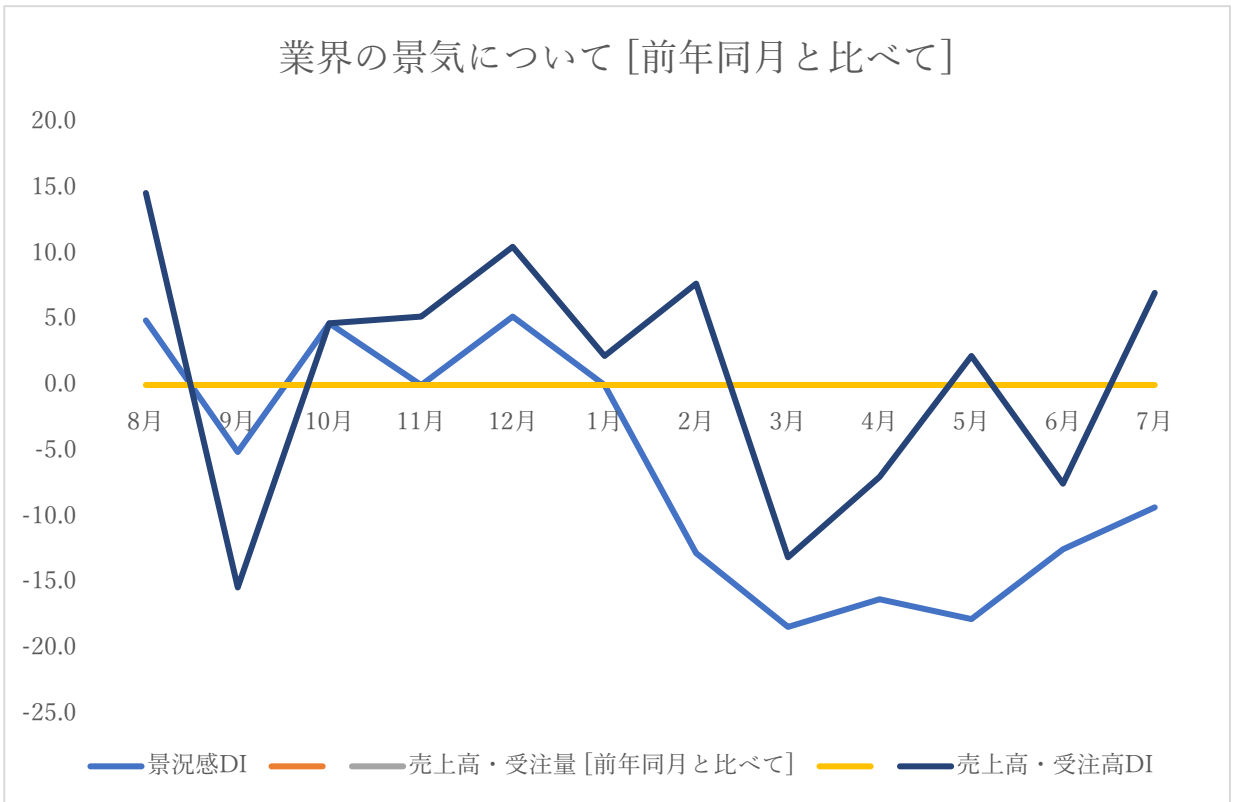
＜概要＞

景気ウォッチャー調査員６９名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高の DI 値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

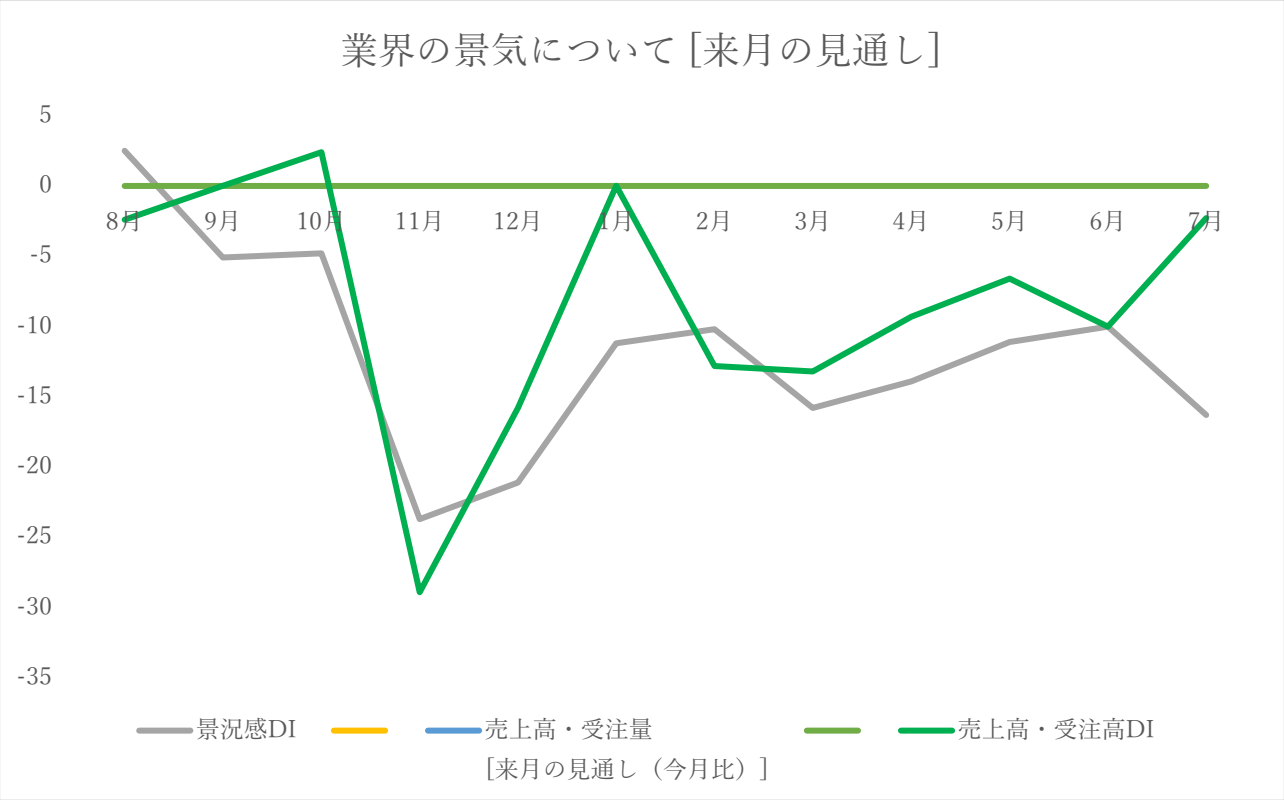
⇒0 より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

2023 年 8 月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



業界の景気について［前年同月と比べて］												
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
景況感DI	4.9	-5.1	4.7	0.0	5.2	0.0	-12.8	-18.4	-16.3	-17.8	-12.5	-9.3
売上高･受注量［前年同月と比べて］												
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高･受注高DI	14.6	-15.4	4.7	5.2	10.5	2.2	7.7	-13.1	-7.0	2.2	-7.5	7.0

2023 年 8 月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について［来月の見通し(今月比)］												
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
景況感DI	2.5	-5.1	-4.8	-23.7	-21.1	-11.2	-10.2	-15.8	-13.9	-11.1	-10	-16.3
売上高･受注量［来月の見通し(今月比)］												
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高･受注高DI	-2.4	0.0	2.4	-28.9	-15.8	0.0	-12.8	-13.2	-9.3	-6.6	-10	-2.3

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
電気機械器具（小）	暑い夏の影響で、エアコン販売が好調。一部の商品で、品切れが発生している。
物流運搬設備(製)	安定感､安心感といったものが感じられない｡それが普通という時代かもしれない。昇給と賞与もアップした先があったが、社員はあまり喜んだようには見えなかった。国の減税も同様で「喜び」というレベルに達する程ではないと思うとの事。
自動車タイヤ(小)	猛暑のせいか、タイヤのバーストが増えている。タイヤ交換は最後に回され、タイヤの状態が良くないのに仕方なく使い続けているお客様も多く見受けられる｡皆一生懸命頑張っているのに利益が上がりにくいこの状況が何とかならないかと思う。

物流運搬設備(製)	業界内では春先から仕事の動きが悪くマイナスの話が多かったが、それではまずいと意欲持って取り組むようになってからは受注量が増えてきた。意欲次第でまだまだ伸ばせると信じて取り組んでいる。ダメな理由を並べても空気が悪くなるだけという意識を社員とも話し合い、今は皆が前を向いてくれている。
木製家具(製)	海外からの輸入木材は相変わらず入らず、あるものは高止まりしている。 品不足のせいか、質も悪くなってる。
スポーツ用品(小)	子供の減少に加えて、運動をする子供も猛暑のせいもあるのか減ってきている。
居酒屋	暑さが尋常ではなく異常気象ではあるが、特に週末に街中に人が増えてきている。暑いのでお酒が進むのか、予約数は増加傾向にある。
鉄骨工事業	建築自体の仕事量が少ないため、工場の手待ちが多くなっている状況。価格競争も激しい。
税理士	半年、1 年先の計画をどのようにするか予想がつかない。人材不足を社員教育で乗り切りたいという声を聞く。
鋳材(卸)	地場産業の製造業界の受注減で低迷している。
ディスプレイ業	行政の入札案件（イベント関連）がかなり減っている。暑い日が続くと予定していたイベントを中止、または延期する主催者が多く、夏場の仕事が薄くなっている。
税理士	外注先確保が人手不足により困難。
社会保険労務士	最賃 50 円アップと社保適用拡大で壁内労働時間は益々短くなり、人手不足が懸念される。
事業協同組合(青果)	連日の暑さによる葉物類、果物類の傷みが心配である
事業協同組合(石油)	ガソリンの販売数量は、酷暑による外出控えも影響し前年と比べ減少した。ガソリン等への補助金は、年内は継続されることになった。しかしながら出口戦略は明確ではなく、今後について懸念される。
事業協同組合(鉄)	物価高騰が続いており、親会社への値上げ交渉にも疲弊している。 異常なくらいの暑さが続いており、工場内の作業にも従業員の健康が心配である。
事業協同組合(鍍金)	産業廃棄物処理価格値上げの影響を受けている。
木製家具(製)	暑い日がつづいており、熱中症にかからないように仕事をしていくのが大変。
警備業	警備業界の中でも、特に外での警備業務は、この酷暑により求人の問い合わせが著しく減少している。
燃料(小)	日銀利上げから、為替相場は大きく円高に動いた。ガス仕入価格の下落に直結するので、円高傾向は大歓迎である。
建築設計業	給排水施工業者への発注案件が増えており、建設工事元請けの施工者は給排水施工の協力会社が確保できないと元請けとしての受注が困難になるケースが発生している。

業種区分	行政・商工会議所への要望・その他連絡事項
資材（卸）	賃上げの要請が強すぎて困っている。
楽器(製)	引き続き情報提供をお願いします。
ディスプレイ業	静岡県または浜松市で今後 PR していく行事などあれば情報提供してほしい。
事業協同組合(鉄)	天竜区方面の道路状況が悪い。トンネル等老朽化が激しい。益々人口減につながる。
木製家具(製)	中小企業に手厚い支援を。

①新型コロナウイルス感染症の影響　②物価高騰・円安の影響 ③インボイス制度への対応　④ダイハツ問題　⑤その他	
化粧品(小)	①新型コロナウイルス感染症による売上減少や物価高騰による生活スタイルの変化の影響を受けている。
ディスプレイ業	①周囲でコロナ感染者が目立ってきた。
事業協同組合(鉄)	①夏場にきてコロナが感染拡大の傾向にある。 ②円安の影響も含め、エネルギー費用の増加が見込まれ採算面が厳しい。
事業協同組合(鍍金)	②原料・エネルギーの高騰
米穀類（小）	②仕入が高騰している。
楽器(製)	②物価高騰、円安等、困っていることはしばらく変わっていない。
資材（卸）	②メーカーより値上げが始まったと同時に円高になり客先対応に困っている。
楽器(製)	②止まらない物価高騰により、９月より商品の価格改定をすることになった。
スポーツ用品(小)	②原材料の値段など上がってきていることにより､店売りの商品は価格転嫁が出来ず、ネット販売に流れてしまう。
資材（卸）	②急激に円高にふれ困惑している。
鋳材(卸)	⑤中国の景気悪化の影響で、製造業界全体が受注減で低迷している

以　上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2024 年 8 月期調査結果（2024 年 10 月発表分）

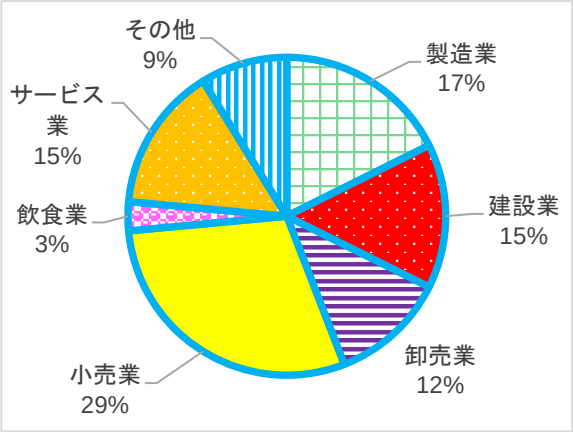
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024 年度景気ウォッチャー調査員（69 名）を対象に、ＷＥＢアンケート調査を行いました。

回答者数は 34 名（回答率は 49.2%）

業種	回答者数	構成比
製造業	6	17.6%
建設業	5	14.7%
卸売業	4	11.8%
小売業	10	29.4%
飲食業	1	2.9%
サービス業	5	14.7%
その他	3	8.8%
計	34	100%

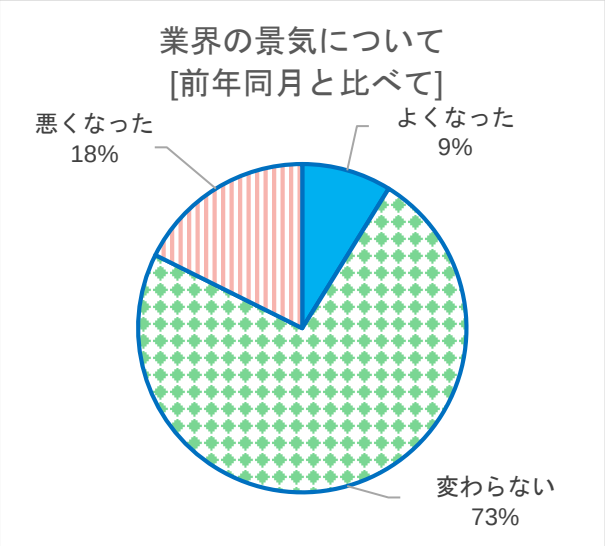


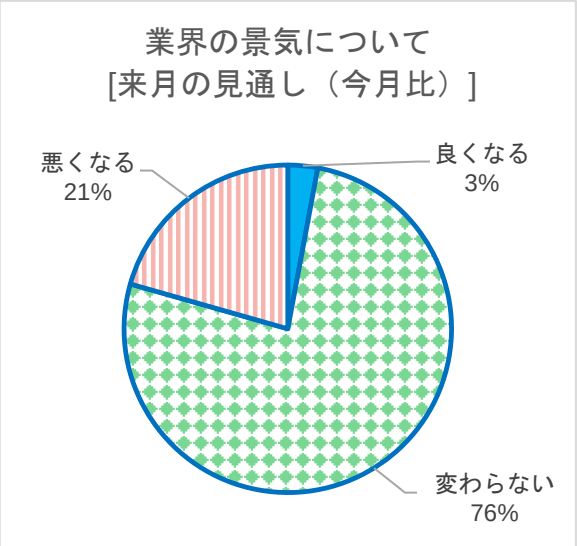
調査結果のポイント

＜景況＞

・2024 年 8 月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が 8.8%、「変わらない」が 73.5%、「悪くなった」が 17.6%となりました。

・2024 年 9 月以降の見通しについて、8 月と比較して、「よくなる」が 2.9%、「変わらない」が 76.5%、「悪くなる」が 20.6%となりました。

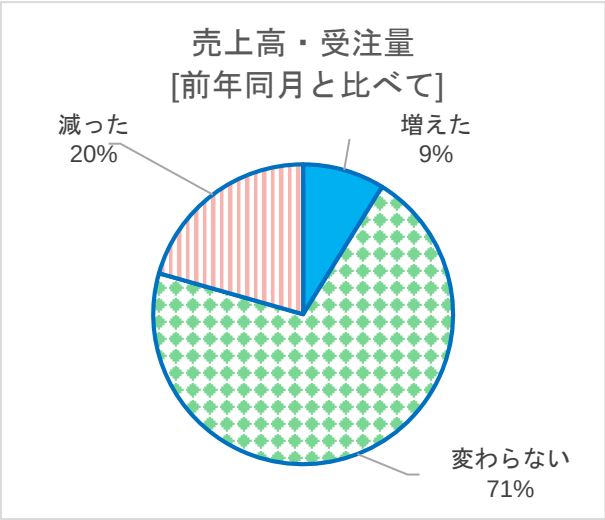


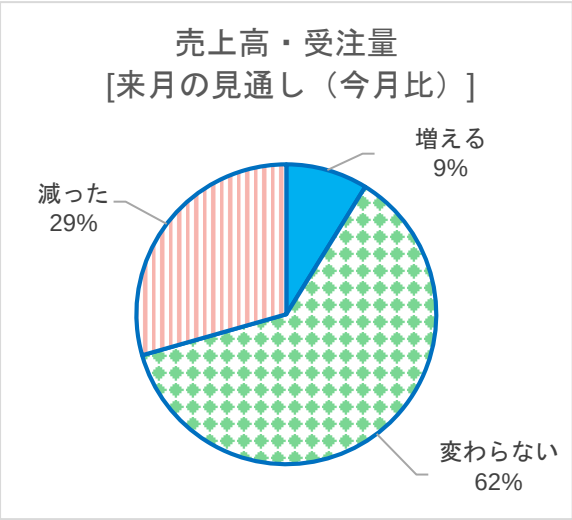


＜売上高・受注＞

・2024 年 8 月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」8.8%、「変わらない」が 70.6%、「減った」が 20.6%となりました。

・2024 年 9 月以降の見通しについて、8 月と比較して、「増える」が 8.8%、「変わらない」が 61.8%、「減る」が 29.4%となりました。





【景気動向 DI（毎月版)】

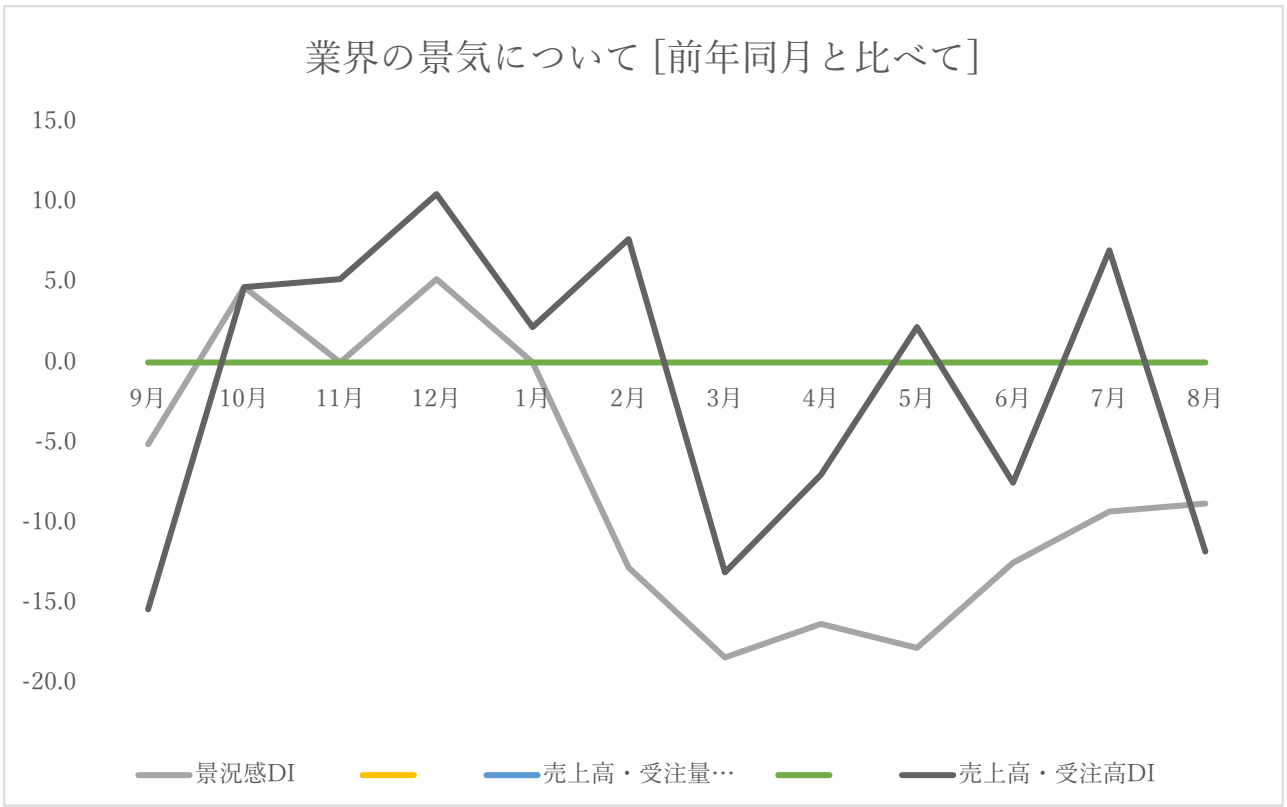
＜概要＞

景気ウォッチャー調査員６９名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高の DI 値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる)」と「悪くなった（悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

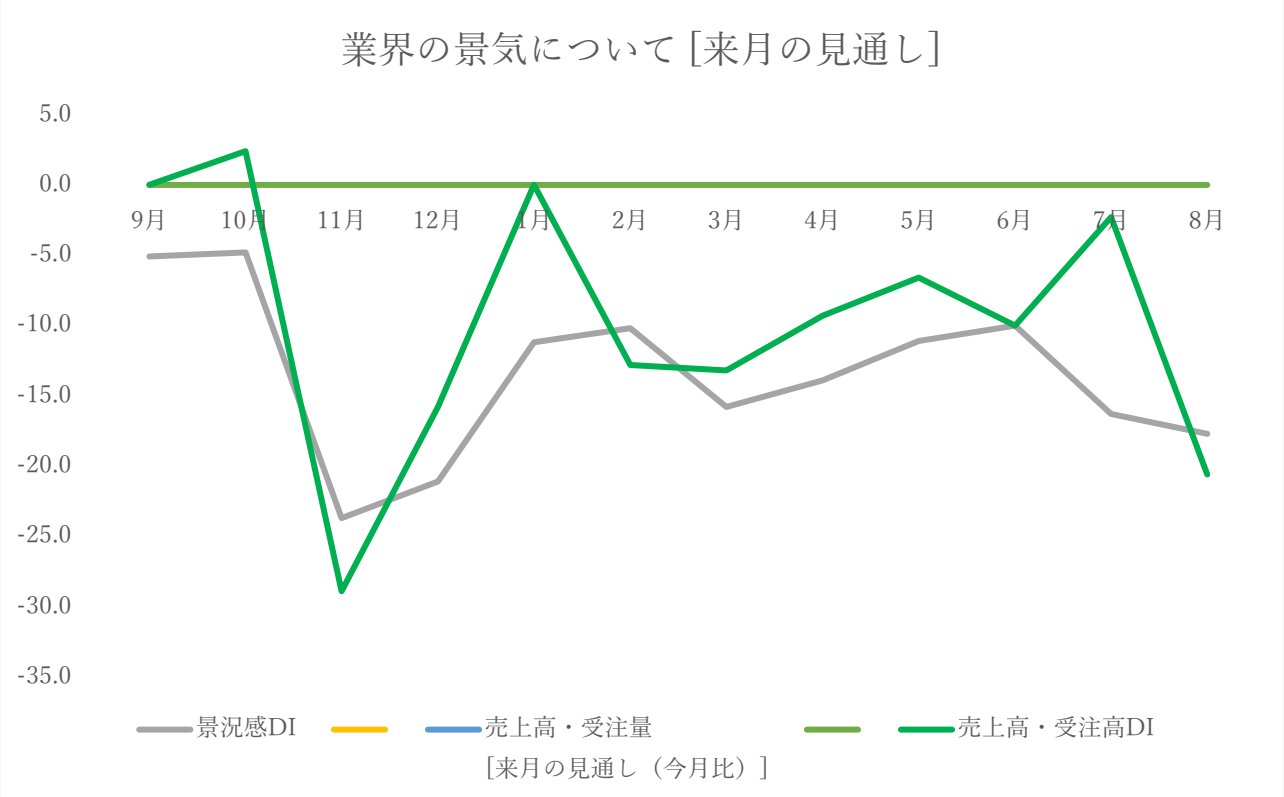
⇒0 より上ならば「よくなった（よくなる)」と回答した人が「悪くなった（悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2023 年 9 月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



業界の景気について［前年同月と比べて］												
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
景況感DI	-5.1	4.7	0.0	5.2	0.0	-12.8	-18.4	-16.3	-17.8	-12.5	-9.3	-8.8
売上高･受注量［前年同月と比べて］												
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高･受注高DI	-15.4	4.7	5.2	10.5	2.2	7.7	-13.1	-7.0	2.2	-7.5	7.0	-11.8

2023 年 9 月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について［来月の見通し(今月比)］												
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
景況感DI	-5.1	-4.8	-23.7	-21.1	-11.2	-10.2	-15.8	-13.9	-11.1	-10.0	-16.3	-17.7
売上高･受注量［来月の見通し(今月比)］												
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高･受注高DI	0.0	2.4	-28.9	-15.8	0.0	-12.8	-13.2	-9.3	-6.6	-10.0	-2.3	-20.6

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
鉄骨工事業	全国的に鉄骨による建築需要が低く、来年以降の仕事が決まらない同業者が多い。
自動車(小・修)	自動車販売は受注生産が当たり前になってきていて、メーカーで完成した時が納期なので、車検満期などでお客様が欲しいタイミングで納車ができない。販売店はそのための車検費用や代車費用などでトラブルになりやすい。
建築工事業	静岡県は他県に比べ、新築住宅着工戸数が少ない傾向にある。
税理士	加工業界の高齢化により外注先が縮小している。
警備業	警備業は人材確保難から、外国人の雇用の他、日本人の６５才以上を積極的に雇用する会社が増加。定年後の雇用の受け皿になりそう。

警備業	１０月からの最低賃金引上げにより、請負価格に転嫁できるかどうか危惧している警備会社が多い。
宝飾（小）	金価格の高騰
税理士	定額減税がまだ定着していない。
社会保険労務士	最低賃金の改定により、一部のパート従業員賃金の底上げをすることが必要になった。
社会保険労務士	e-Gov メンテナンス後のトラブルで一時電子申請が滞った。
茶(加・小)	BtoC は価格高騰や天気などの全国ニュース、地域はウイルスなどの SNS 情報で直ぐに客数に影響が発生する。
サッシ・ドア(製)	相変わらず、去年の今頃からの不景気が続いている。知る限り、同じ建設業、製造業、土木、住宅、みな悪く打つ手がない。コロナ時のような公的な補助もない。
木製家具(製)	取引先の創業者がなくなり先行きが不透明になってる。
家庭電化製品(販)	雨の影響で、配送が遅れる。この傾向が続くと、商品発注の方法を変えなければならない。
事業協同組合(青果)	物流、天候不順による青果物の高騰が心配である。
事業協同組合(石油)	8 月のガソリン販売数量は、前半は南海トラフ地震に関連した特需と酷暑により増加したが、台風の影響で後半は失速し、トータルでは前年並であった。 年内は政府の補助金支給が継続されるが、詳細は未定で出口戦略が懸念される。
事業協同組合(機械)	株価の乱高下、円安から円高に振れており、親会社との交渉もいろいろな面で大変である。
事業協同組合(ものづくり)	建物および設備関係の老朽化が進んでいる上に自動化を図ろうとすると設備投資に莫大な資金が必要であるが、従業員への賃金上昇や今後の受注状況が不安定であり積極的に行えない。
木製家具(製)	受注案件の減少
燃料(小)	過去最高と思われる暑さが続いたため、ガス消費量は例年以上に少ない。
電気めっき業	業界景気が下向きの中、最低賃金や労務費が高騰している。
鋳材(卸)	工作機械製造業界は相変わらず受注が低迷しているが、自動車関係の受注が横ばいとなっている。
資材（卸）	物価高騰や賃上げによる値上げの影響が大きい。円高に向かっている中での値上げに対して取引先でも値上げを行う・行わないと分かれ、ユーザーへ値上げを要請すると他社へと切り替えられてしまうなどの恐れがあり価格転嫁ができず、困っている。

業種区分	行政・商工会議所への要望・その他連絡事項
家庭電化製品(販)	和合町交差点の道路の渋滞を早く改善してほしい。
事業協同組合(機械)	中心市街地の活性化（松菱跡地利用）…車社会であるため駐車料金がいらないイオン、アピタ、ららぽーとへ自然と買い物客が流れ、中心市街地に買い物に行く必要性がないという意見を聞く。
資材（卸）	賃上げを行うのであれば中小企業に対して何らかの補助を行ってほしい。
①新型コロナウイルス感染症の影響　②物価高騰・円安の影響 ③インボイス制度への対応　④ダイハツ問題　⑤その他	
鉄骨工事業	②物価高騰及び運搬費の値上げによって取引業者から値上げの知らせが来ている。

税理士	②最低賃金の上昇が利益圧迫の見込み。
木製品(製)	②ドルと円のレートの推移が激しい。
自動車(小・修)	④ダイハツ車の供給は戻ってきたが、後方確認の法規対応で結果的に供給不足である。
社会保険労務士	⑤10 月からの郵便料金アップは真綿で首を締められる感じ。
木製家具(製)	⑤8 月末の台風や秋雨前線の影響で、一週間現場が動けなくなったのは痛手。

以　上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2024 年 9 月期調査結果（2024 年 11 月発表分）

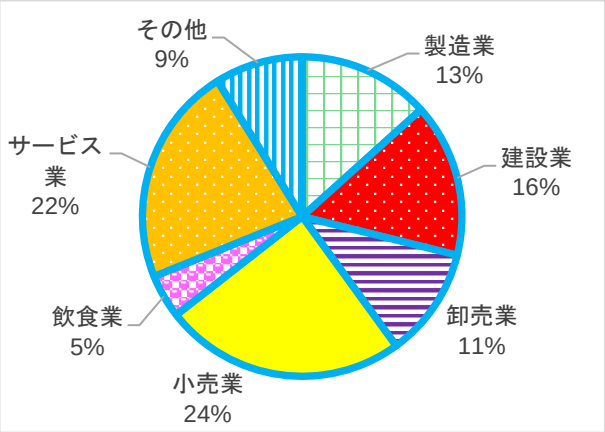
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024 年度景気ウォッチャー調査員（69 名）を対象に、ＷＥＢアンケート調査を行いました。

回答者数は 45 名（回答率は 65.2%）

業種	回答者数	構成比
製造業	6	13.3%
建設業	7	15.6%
卸売業	5	11.1%
小売業	11	24.4%
飲食業	2	4.4%
サービス業	10	22.2%
その他	4	8.9%
計	45	100%

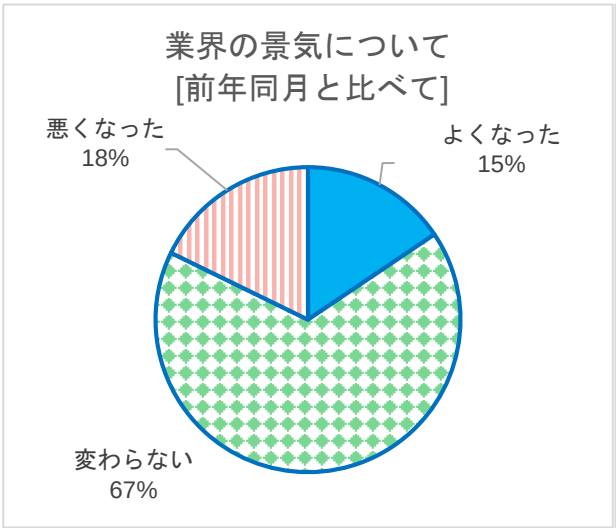


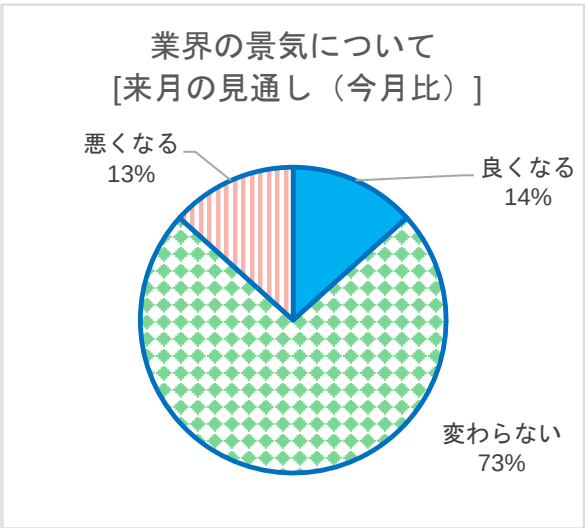
調査結果のポイント

＜景況＞

・2024 年 9 月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が 15.6%、「変わらない」が 66.7%、「悪くなった」が 17.8%となりました。

・2024 年 10 月以降の見通しについて、9 月と比較して、「よくなる」が 13.3%、「変わらない」が 73.3%、「悪くなる」が 13.3%となりました。

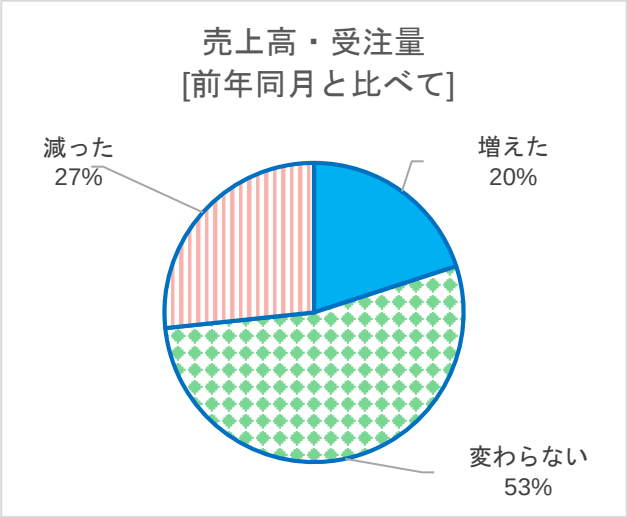


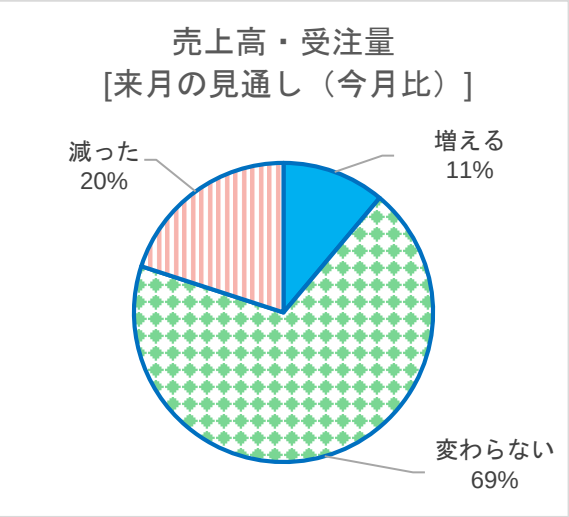


＜売上高・受注＞

・2024 年 9 月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」20.0%、「変わらない」が 53.3%、「減った」が 26.7%となりました。

・2024 年 10 月以降の見通しについて、9 月と比較して、「増える」が 11.1%、「変わらない」が 68.9%、「減る」が 20.0%となりました。





【景気動向 DI（毎月版）】

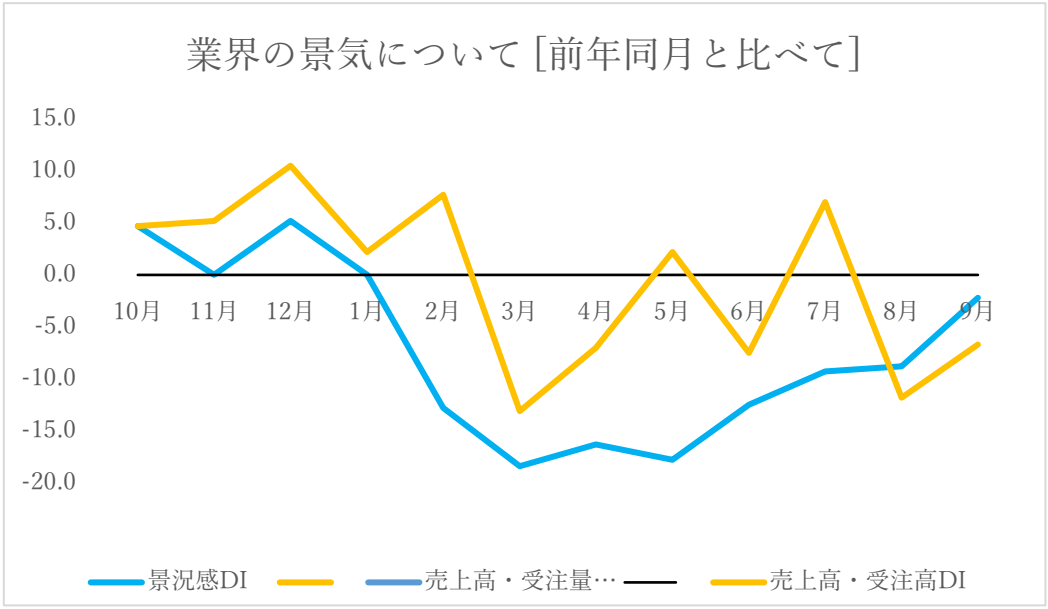
＜概要＞

景気ウォッチャー調査員６９名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高の DI 値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0 より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

2023 年 9 月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



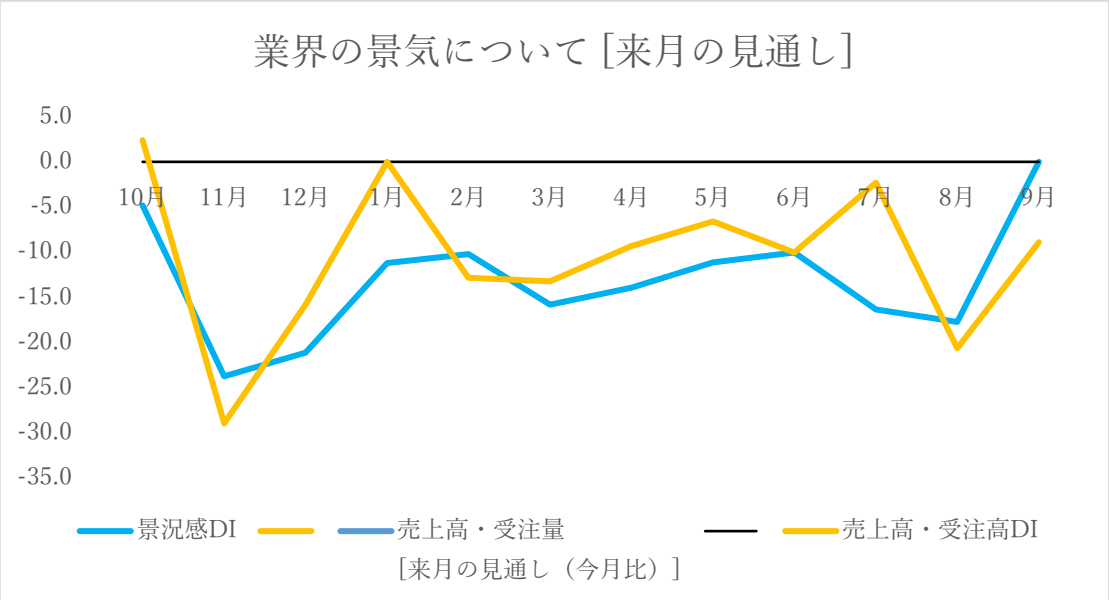
業界の景気について
［前年同月と比べて］

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
景況感DI	4.7	0.0	5.2	0.0	-12.8	-18.4	-16.3	-17.8	-12.5	-9.3	-8.8	-2.2

売上高･受注量
［前年同月と比べて］

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高･受注高DI	4.7	5.2	10.5	2.2	7.7	-13.1	-7.0	2.2	-7.5	7.0	-11.8	-6.7

2023 年 9 月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について
［来月の見通し(今月比)］

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
景況感DI	-4.8	-23.7	-21.1	-11.2	-10.2	-15.8	-13.9	-11.1	-10.0	-16.3	-17.7	0.0

売上高･受注量
［来月の見通し(今月比)］

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高･受注高DI	2.4	-28.9	-15.8	0.0	-12.8	-13.2	-9.3	-6.6	-10.0	-2.3	-20.6	-8.9

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
建築工事業	大手銀行が住宅ローンの変動金利引き上げを表明したので、今後の住宅受注にどのような影響が出るか気になる。
鋳材(卸)	相変わらず製造業の低迷が続いている
自動車タイヤ(小)	タイヤメーカーは殆ど過去最高益など好業績のようですが、末端にはその恩恵は全くない状況。再再々値上げが無いだけ、良しとしなければいけないのか？
印鑑(製・販)	昨年はインボイス制度が 10 月より開始され、9 月ごろより事業者番号のゴム印などの需要がありましたので、その分昨年より売上が減っている。
土木工事業	担い手不足、後継者不足、高齢化が心配。
警備業	定年をむかえた方々のその後の就職先として警備会社への就職が多くなってきたようだ。
機器工具(卸)	手形の６０日ルールがはじまり、一部、大手の仕入先からこれを根拠にサイト短縮の依頼がきている。対して回収側では、中堅規模の企業でも未だに 120 日手形があり、対応に苦慮している。

社会保険労務士	最低賃金改正により、求人募集をするにあたり既存従業員の賃金改定を実施することになった。
楽器(製)	暑さが収まらないため、体調を崩す職員がいた。
社会保険労務士	AI を活用できたらと思い勉強中。
茶(加・小)	Z 世代と業界の話しをしていても、似て非なるもの。一回り以上違えばしっかり聞いたつもりでも、単語のイメージも異なるのでターゲット層にしたくても苦戦をしている。
サッシ・ドア(製)	相変わらず超低調だが、一時期よりは動きが出始めた。しかし業績が改善されるほどではない。
木製家具(製)	１０月からまたいろいろなものが、値上げされ、価格転嫁がおいつかない
司法書士	相続登記の義務化が始まり相談が増えた
電気機械器具（小）	パナソニック、25 年 3 月末で直管蛍光灯の生産を終了。照明器具の LED への買い替えが、進むのではないか。
事業協同組合(青果)	最近野菜の高騰が続いているので品不足が心配。
事業協同組合(石油)	9 月のガソリン販売数量は、前月が南海トラフ地震に関連した仮需により増加したため、反動で減少した。政府の補助金支給は年内継続されるが、来年以降の対応の詳細は未定であり、出口戦略が懸念される。
事業協同組合(ものづくり)	設備の老朽化や省エネ化に対応するための設備投資が必要だが、今後の受注見込に不安な要素が多く、投資に踏み切れない。
事業協同組合(鍍金)	コストの単価への反映が遅い。
燃料(小)	円高傾向であったため、ガス仕入価格の下落を期待していたが、再び円安傾向に転じてしまった。
資材（卸）	地域を活かす為にもネットばかりでなく、多少高くても地域の業者より購入するような意識を持っていただけると嬉しい
建築設計業	建設業界の発注量に対する機械設備業者不足は引き続き続いているようで、電気設備工事も同じく業者不足の様子。
業種区分	①新型コロナウイルス感染症の影響　②物価高騰・円安の影響 ③インボイス制度への対応　④ダイハツ問題　⑤その他
税理士	②為替の変動、株式相場の変動等激しい動きとなり、将来が不安。
税理士	②価格転嫁により、売上を伸ばしきれていない。社員さんへの賃上げをしたくても、できない経営をなんとかしたくても、どうにもならないという声がある。定額減税を考えると年長が心配という声もある。
事業協同組合(鉄)	②一部のホンダ関連の下請企業は円安の影響でタイ工場からの配当金、ロイヤリティ等が 1.5 倍の入金になっており国内の親会社よりも売上が多い。海外に工場を持つ企業にとっては利益に貢献している。国内の売上、利益は横ばいないし、やや減。
土木工事業	②建設資材の物価高騰による利益幅が減少している。
経営コンサルタント	②中小企業で原価転嫁ができていない企業が多いようだ。
茶(加・小)	②必需品や電気料金など、選べない物事の物価高騰が相次ぐ中、地方の嗜好品は客離れを懸念して断念が続くが、値上げのタイミングを見計らう。
自動車タイヤ(小)	②物価高を含め、日本がより一層貧しい国になっているという感覚がある。働き甲斐のある国になるように舵取りをしてほしい。
鋳材(卸)	②物価高騰が 2 次、3 次となってきたものがある。

楽器(製)	②物価高騰が収まらないため、今月より値上げを行った。商品が動かないのではという不安もあったが、動いてくれているので安心している。
居酒屋	"②物価高騰が非常に厳しい。忘年会に向けて、金額設定も含めて宴会コースが悩ましい。
資材（卸）	②物価高騰による影響で値上げの要請が多くきているが、昨今の円高への動きの中での要請となりエビデンスが弱く、客先への価格転嫁ができないでいる為状況は芳しくない
社会保険労務士	②米が買えず外食が増えたが、もう牛丼は安くないのだと感じた。
警備業	⑤その他：最低賃金引上げにともない、元請会社との請負単価交渉を行い、ほとんどの元請会社に理解を得ることができた。
木製家具(製)	⑤相変わらず海外からの輸入木材は入りにくく、今後も続くとみられる
事業協同組合(鍍金)	⑤台風 10 号の影響により、物流への支障、取引先の休業措置など影響があった。
税理士	⑤中小企業にもＤＸ化の波が押し寄せている。いずれ対応しなければならないのは誰もが感じていること。早めに推進していくことが差別化につながる。

以　上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2024 年 10 月期調査結果（2024 年 12 月発表分）

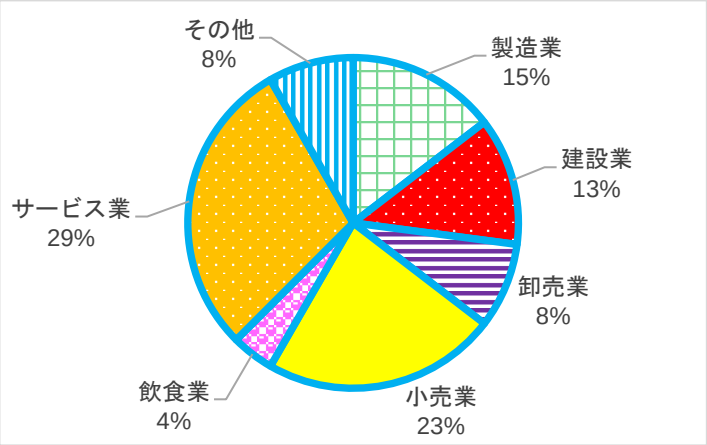
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024 年度景気ウォッチャー調査員（69 名）を対象に、ＷＥＢアンケート調査を行いました。

回答者数は 48 名（回答率は 69.6%）

業種	回答者数	構成比
製造業	7	14.6%
建設業	6	12.5%
卸売業	4	8.3%
小売業	11	22.9%
飲食業	2	4.2%
サービス業	14	29.2%
その他	4	8.3%
計	48	100%

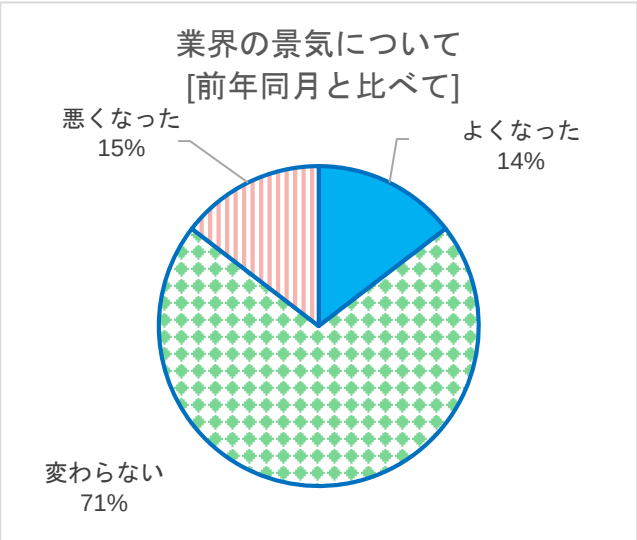


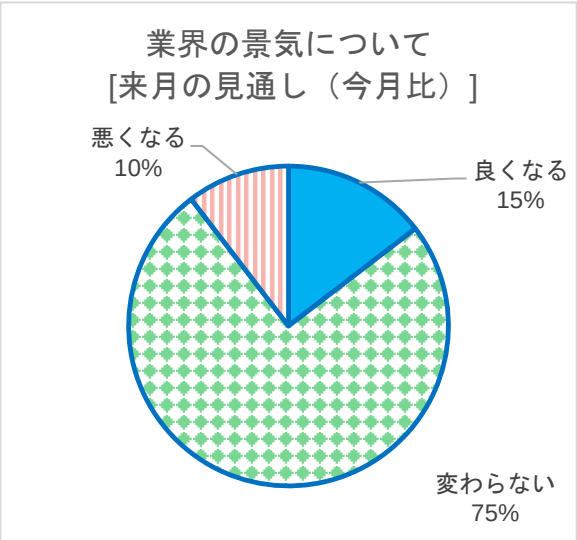
調査結果のポイント

＜景況＞

・2024 年 10 月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が 14.6%、「変わらない」が 70.8%、「悪くなった」が 14.6%となりました。

・2024 年 11 月以降の見通しについて、10 月と比較して、「よくなる」が 14.6%、「変わらない」が 75.0%、「悪くなる」が 10.4%となりました。

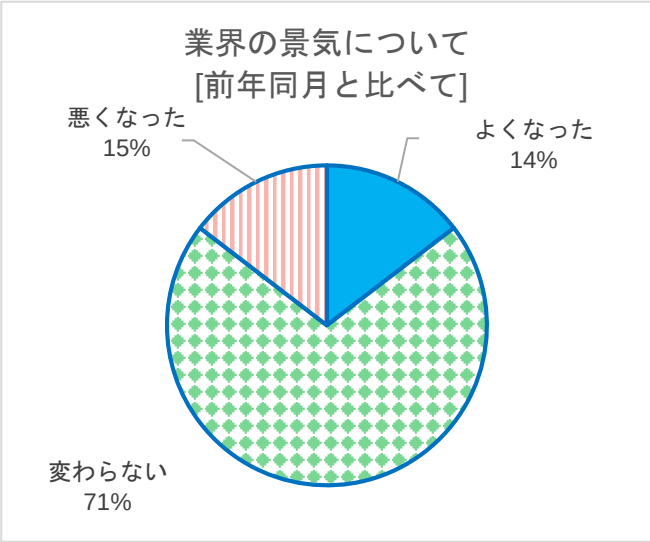


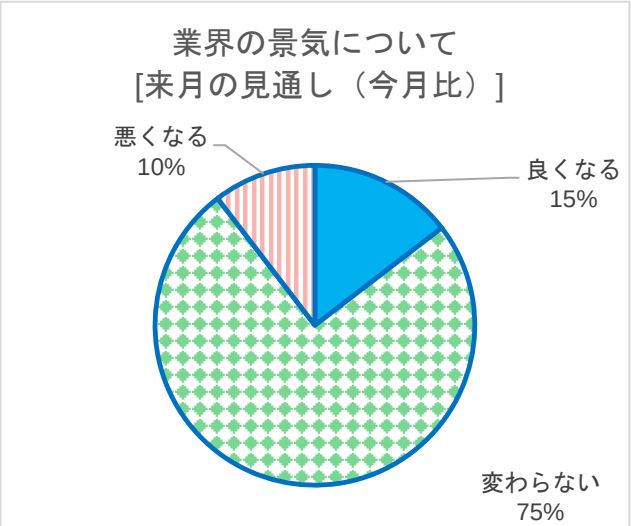


＜売上高・受注＞

・2024 年 10 月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が 18.8%、「変わらない」が 68.8%、「減った」が 12.5%となりました。

・2024 年 11 月以降の見通しについて、10 月と比較して、「増える」が 25.5%、「変わらない」が 59.6%、「減る」が 14.9%となりました。





【景気動向 DI（毎月版）】

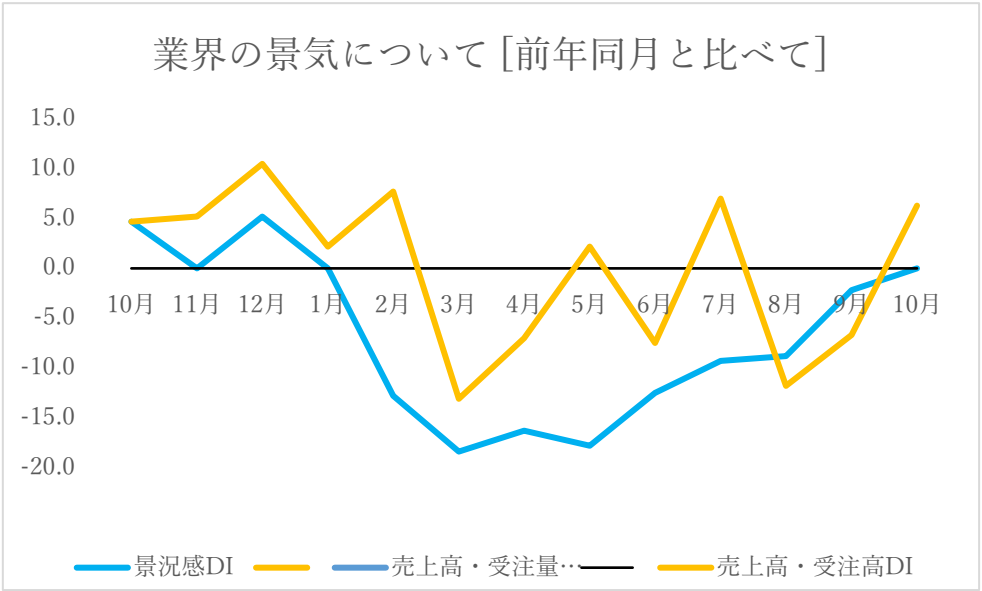
＜概要＞

景気ウォッチャー調査員 69 名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高の DI 値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0 より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

2023 年 10 月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



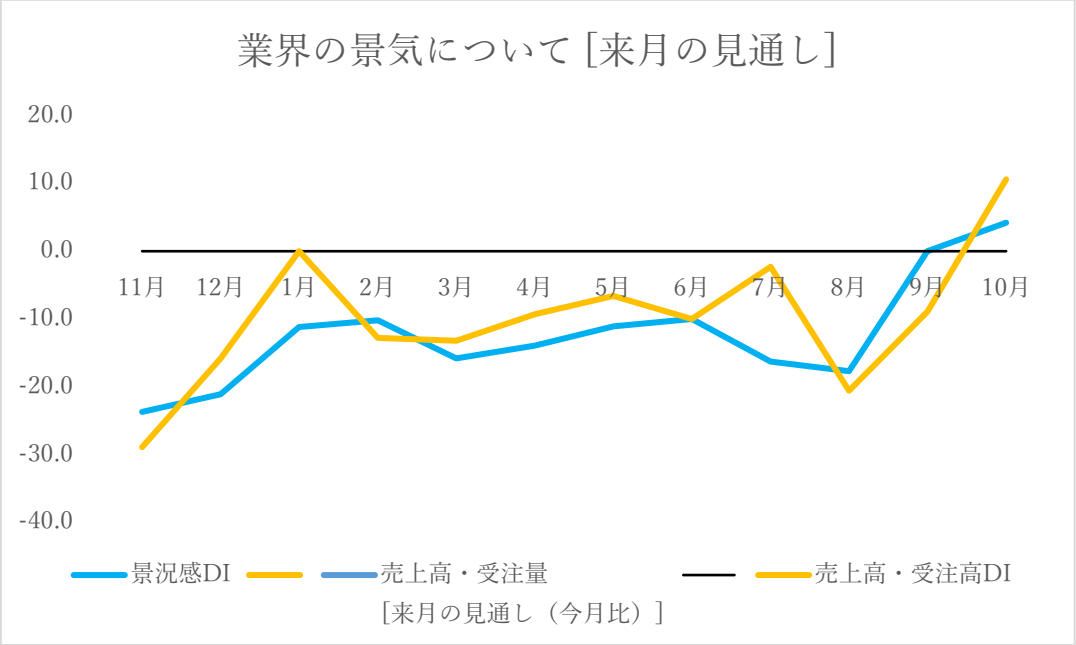
業界の景気について
［前年同月と比べて］

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
景況感DI	4.7	0.0	5.2	0.0	-12.8	-18.4	-16.3	-17.8	-12.5	-9.3	-8.8	-2.2	0.0

売上高・受注量
［前年同月と比べて］

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高・受注高DI	4.7	5.2	10.5	2.2	7.7	-13.1	-7.0	2.2	-7.5	7.0	-11.8	-6.7	6.3

2023 年 10 月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について
［来月の見通し(今月比)］

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
景況感DI	-23.7	-21.1	-11.2	-10.2	-15.8	-13.9	-11.1	-10.0	-16.3	-17.7	0.0	4.2

売上高・受注量
［来月の見通し(今月比)］

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高・受注高DI	-28.9	-15.8	0.0	-12.8	-13.2	-9.3	-6.6	-10.0	-2.3	-20.6	-8.9	10.6

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
鉄骨工事業	全国的に建築の案件が少ない。今年度はこのままの状況で進む想定。
自動車(小・修)	整備士は常に人材不足なので、必然的に給料も上げざるを得ないが、そもそもの整備技術が給料に見合わない人材が多い。
税理士	自動車業界の業績ダウンが、末端の業者に大きな影響が及ばなければよいのですが。
建築工事業	最近、豊橋の工務店（住宅ビルダー）が浜松で新築住宅を建てている現場をよく見かけるようになった。（下請け業者の話による。）
鋳材(卸)	モデルチェンジなどで新規の金型などの受注が増えた。
化粧品(小)	小売店舗の減少。
印鑑(製・販)	昨年はインボイス関連のゴム印や、市の区再編による住所変更のゴム印需要があったが、今年はその分が目減りしている。
警備業	警備業は、警備員不足。更に、工事発注過多。元請け会社は工事を行うために相場請負単価以上の金額を払い、警備員の確保を行うケースが多くなった。

楽器(製)	物価高騰の影響で全体的に価格が上昇している。このままではどうなるのか本当に心配。
社会保険労務士	来月は健康保険証に関する問い合わせが急増しそうな気がする。
経営コンサルタント	米国が自国を守るために非常に高い関税をかけてきそう
ディスプレイ業	10 月 11 月はイベント展示会で忙しくなるが、12 月以降の見通しがたっていない。
茶(加・小)	市街県外の、観光客の流れもちらほら。ただ、浜松市に来られる理由はイベント・ライブ・推しのうなぎ屋など明確に目的地があり、その空いた時間でご来店。
サッシ・ドア(製)	相変わらず仕事量は少なく、不安定。多少は改善の見通しはあるものの、今までの凹みを解消するほどではない。
玩具(販)	原材料費の高騰を背景に、さらなる価格上昇が見込まれます。消費者の負担が増え、趣向品の購買意欲が低下している。価格競争が激しくて売り方を変えていっていてもなかなか反映されない。
電気機械器具（小）	テレビドアホンや監視カメラの注文が、増えてきた。残念ながら、商品がすぐに間に合わない。日数がかかる。
事業協同組合(青果)	野菜、果物が比較的安定はしているが、月末から年末にかけての高騰が心配される。
事業協同組合(石油)	10 月のガソリン販売数量は、ほぼ前月並みで市況は概ね安定していた。政府の補助金支給は年内継続されるが、来年以降の対応の詳細は未定であり、出口戦略が懸念される。
事業協同組合(機械)	中小企業の存亡の危機にあるという認識があるが、根本的な対策が政治課題になっていないのが問題と思う。
事業協同組合(鉄)	下請法が浸透しており受注代金についてもそれなりの利益が確保できている。
事業協同組合(ものづくり)	年末に向けて物価上昇による買い控えが発生するのか懸念している。
居酒屋	11 月の中旬くらいから、忘年会が今年から予約が入ってきている。
燃料(小)	アメリカ大統領選でトランプ前大統領が勝利し、為替は円安に振れた。ガス輸入価格・ガス供給設備機器等、全てにおいて値上げが続いており、ガス小売価格値上げを検討せざるを得ない状況である。
電気めっき業	人手不足に対し大手企業が高い給与にて募集をかけるため、中小企業まで人が集まらない。
資材（卸）	賃上げの影響による値上　メーカーにて賃上げの為の値上げが行われているが、メーカーごとに対応が異なる為、卸売り業としては価格転嫁が難しく対応に頭を抱えている
建築設計業	市役所の発注物件で建設工事関係では、給排水工事の人手不足により不調案件が目立っている。
業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
鉄骨工事業	①物価高騰による影響によって製造コストが上がっている。
資材（卸）	①物価高騰・円安の影響　為替の変動が激しく目測が立たない
楽器(製)	①物価高騰が止まらないため、価格の改定に踏み切ったが理解は得られているように思える。いいかげん何か対策をしてもらえないものか。
鋳材(卸)	①中国などの天産品の物価高騰が影響している
化粧品(小)	①物価高騰の影響等により非常に悪い
玩具(販)	①世界情勢の不安定さから原材料費や輸送コストがさらに上がり、製品価格に

	も影響が出ています。供給不安で在庫確保が難しい。
事業協同組合(ものづくり)	①物価高騰による原材料費や燃料費の負担増が続いている。
事業協同組合(鍍金)	①主要取引先の自動車関連の受注環境が改善した。
木製家具(製)	①材料高騰による原価の圧迫。
事業協同組合(鉄)	①物価高騰は営業利益にじわじわと響いている。衆議院選挙結果として「103万円の壁」を早急に解決しないと時給は上がっても労働時間の短縮による人手不足が深刻である。今後の政局による不透明感があり、景気のさらなる減速が心配である
自動車タイヤ(小)	①国内も自公が過半数割れで、どのような展開になるのか不透明な状況ですが、物価高対策をしっかりとやって欲しいと思います。 ④アメリカ大統領選の結果で随分と世界経済が変わると思います。
警備業	② 人手不足は変わらず、人材確保が困難である。賃上げはどこの会社も行っているので、賃上げだけでは確保できないため、他の方策が重要である。
社会保険労務士	②専門職男性スタッフの育休取得に対して、人材確保が困難なケースが出てきている。求人強化も含め、組織だって対応している。
社会保険労務士	②年収の壁が動けば世帯収入が増えるだけでなく、人手不足はかなり解消すると思うのだが…
ディスプレイ業	②取引先や外注（下請け）さんの人手不足、物価高（値上）が目立ってきている
電気めっき業	②人手不足により、既存従業員の業務負荷が高くなっている
税理士	②最低賃金が 1,000 円以上は中小にとってはハードルが高すぎる。 ③AI の言葉だけ流行し、DX 投資をしている人が止まっている。
電気機械器具（小）	③お客様感謝デーの DM も、紙からネットを利用した方法に、変わろうとしている。
経営コンサルタント	④米国の大統領がトランプになった。世界的な秩序が乱されそう。
事業協同組合(機械)	④アメリカトランプ新大統領による日米経済の変化が、自動車業界をはじめとする産業になんかのインパクトがあると想定される。
茶(加・小)	⑤インバウンド需要が、浜松市でも少しですが戻ってきた。
自動車(小・修)	④新車は製造台数の 8 割が海外へ出荷されるので、国内の需要に対して納期が異常にかかる車がある。
税理士	④アメリカの大統領選もトランプ氏の勝利により、欧州各国との関係において、特段問題が生じなければいいのですが。
税理士	⑤金融機関からの借入金利がほぼ一律にアップされている。借入負担が大きい企業にとっては今後影響が出てくることが予想される。

以　上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2024 年 11 月期調査結果（2025 年 1 月発表分）

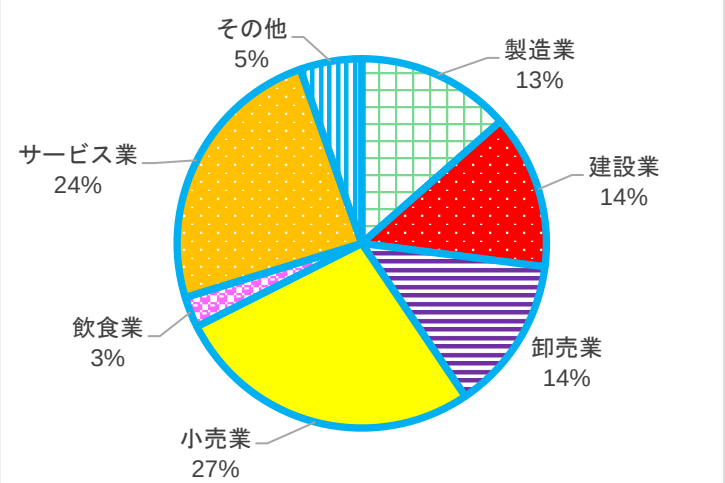
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024 年度景気ウォッチャー調査員（69 名）を対象に、ＷＥＢアンケート調査を行いました。

回答者数は 37 名（回答率は 53.6%）

業種	回答者数	構成比
製造業	5	13.5%
建設業	5	13.5%
卸売業	5	13.5%
小売業	10	27.0%
飲食業	1	2.7%
サービス業	9	24.3%
その他	2	5.4%
計	37	100%

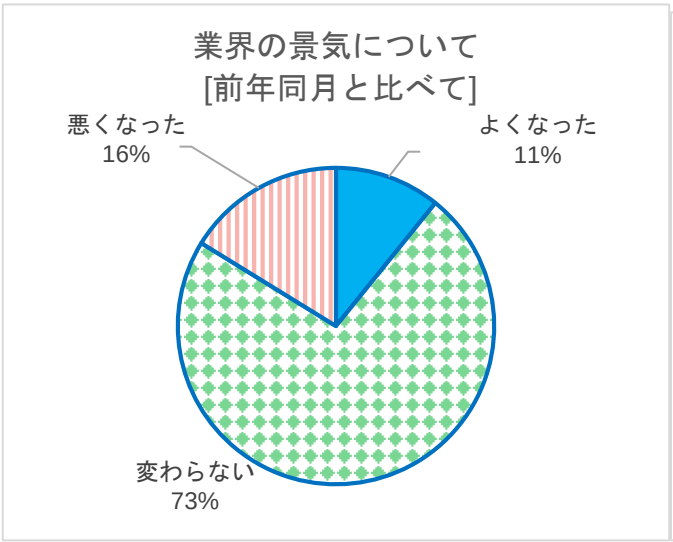


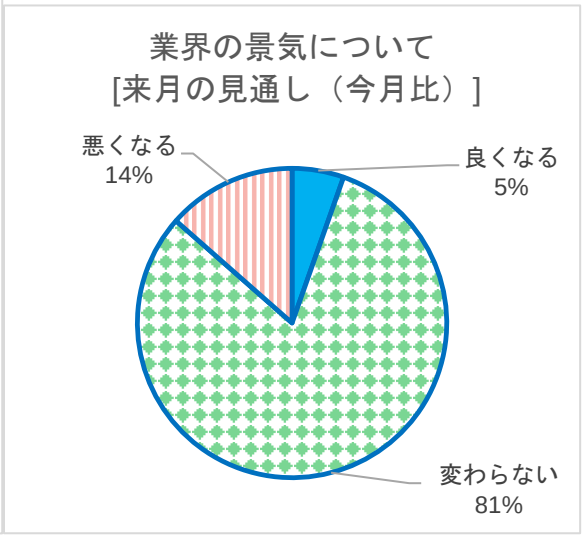
調査結果のポイント

＜景況＞

・2024 年 11 月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が 10.8%、「変わらない」が 73.0%、「悪くなった」が 16.2%となりました。

・2024 年 12 月以降の見通しについて、11 月と比較して、「よくなる」が 5.4%、「変わらない」が 81.1%、「悪くなる」が 13.5%となりました。

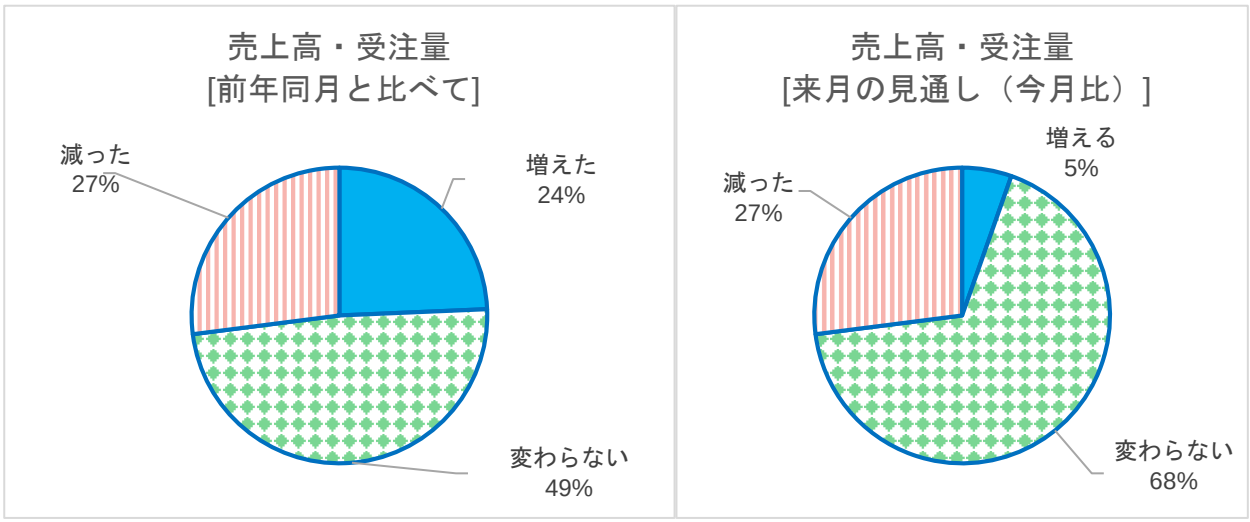




＜売上高・受注＞

・2024 年 11 月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が 24.3%、「変わらない」が 48.6%、「減った」が 27.0%となりました。

・2024 年 12 月以降の見通しについて、11 月と比較して、「増える」が 5.4%、「変わらない」が 67.6%、「減る」が 27.0%となりました。



【景気動向 DI（毎月版）】

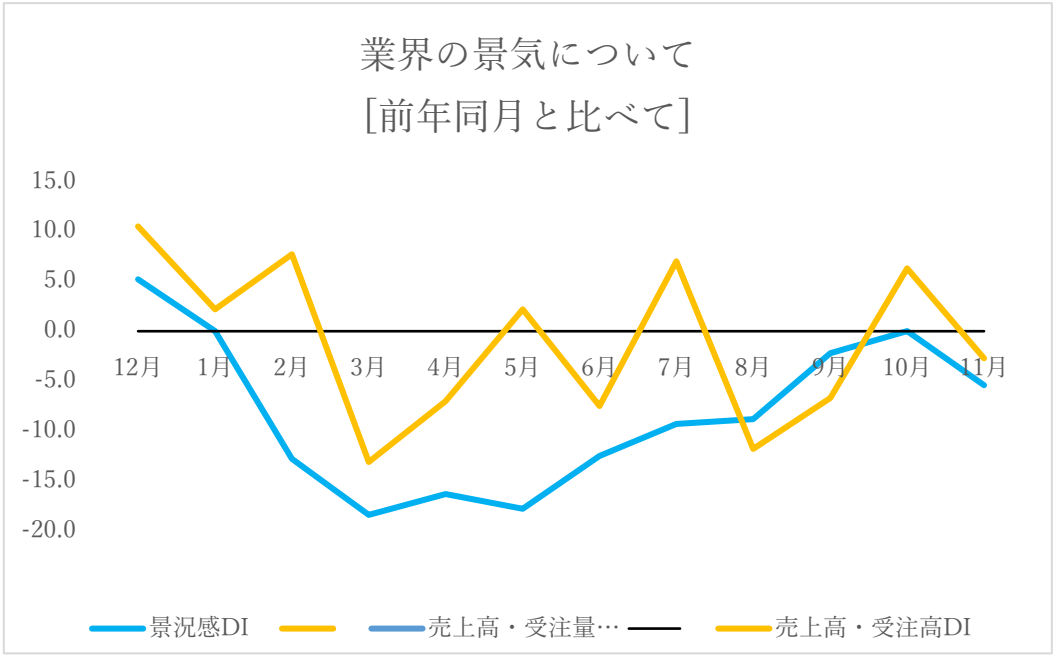
＜概要＞

景気ウォッチャー調査員６９名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高の DI 値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

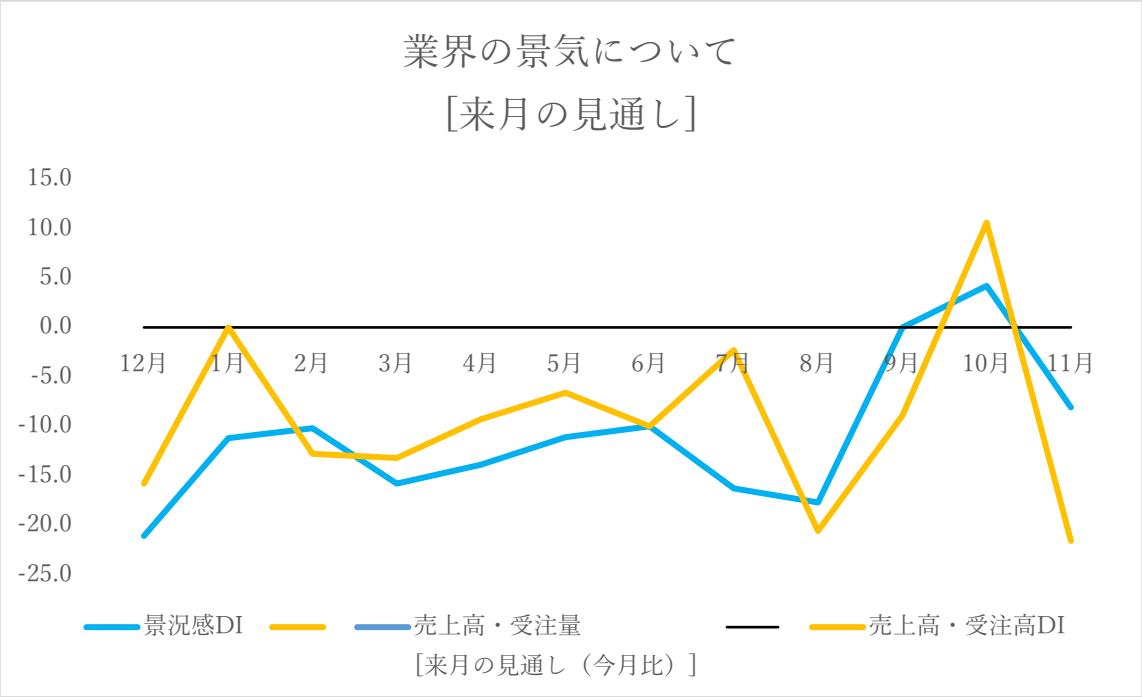
⇒0 より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

2023 年 12 月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



業界の景気について［前年同月と比べて］												
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
景況感DI	5.2	0.0	-12.8	-18.4	-16.3	-17.8	-12.5	-9.3	-8.8	-2.2	0.0	-5.4
売上高・受注量［前年同月と比べて］												
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高・受注高DI	10.5	2.2	7.7	-13.1	-7.0	2.2	-7.5	7.0	-11.8	-6.7	6.3	-2.7

2023 年 12 月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について［来月の見通し(今月比)］												
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
景況感DI	-21.1	-11.2	-10.2	-15.8	-13.9	-11.1	-10.0	-16.3	-17.7	0.0	4.2	-8.1
売上高・受注量［来月の見通し(今月比)］												
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高・受注高DI	-15.8	0.0	-12.8	-13.2	-9.3	-6.6	-10.0	-2.3	-20.6	-8.9	10.6	-21.6

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
自動車(小・修)	新車が高額になり過ぎて、なかなか車を買い替えることができなくなって、業界全体に活気がない。
税理士	103 万円の壁が国会で論議されている。地方税への影響が大きいようで、既成の配分方法をもとに現在議論されているが、地方交付税交付金で対応可能なはず。
鋳材(卸)	輸入の耐火材料の高騰で耐火製品の値上がり要請が生じた。
祭用品(小)	原材料の値上げ、人手不足,工場の廃業などで商品が作れなくなっている。
税理士	地域でイベントは小さくても続けて欲しい。
機器工具(卸)	下請法の手形 60 日ルールが始まったが、以前 150 日など長いサイトがあり、短縮されるかも不明。
社会保険労務士	社会保険の適用拡大、いわゆる 103 万の壁に該当するケースで被扶養配偶者から外れる手続きが頻繁にあった。

玩具(販)	業界大手の値上げが 1 月に決まっていて、先が読めなくなってきている。
家庭電化製品(販)	年末商戦に入り、エアコンへ関心が高い。LED 照明器具が売れている。
事業協同組合(石油)	11 月のガソリン販売数量は、ほぼ前月並みで市況は概ね安定していた。政府の補助金支給は 12 月 19 日と来年 1 月 16 日にそれぞれ約 5 円程度減少すること伴い、販売金額は同額増加するため、今後の販売数量への影響が懸念される。
事業協同組合(鉄)	親会社からの受注代金は相応の値段であり、利益は確保できている。
事業協同組合(ものづくり)	外国人労働者の雇用に関して制度改正の影響が心配（産業分野の選別）
燃料(小)	灯油価格は高止まりが続いていたが、12 月 19 日から政府補助金が縮小されることにより 5 円値上がりする。夏場で消費量が少ない時期に都市ガスに対して補助金を支給したり、灯油の消費量が多くなる時期に補助金を縮小したりと、政府の補助金政策に違和感を覚える。
資材（卸）	物価高騰によるコスト削減への意識が強く、ますますネット購買やネットの比較が強まっている
建築設計業	建設会社の現場監督の人手不足の話を聞く機会が多い。年配者と新人はいるのだが、中間の働き盛りの年齢層が少ないとのこと。また、転職の斡旋は現場監督の個人の携帯電話へ連絡があるため、会社側での把握は難しいとのこと。
事業協同組合(鉄)	市内中心部の老舗料亭が廃業し、マンション建設用地になるとの噂を聞いており、ホテル以外、中規模の宴会・会食ができるところが減少している。全国チェーンの居酒屋ばかりにならないかという懸念がある。
業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
税理士	①②あらゆる業種で材料の高騰が止まらない状況が続いている。人手不足が常態的になり、賃上げの圧力も重なり利益の確保が一段と難しくなっている。
玩具(販)	①最近は特に、物価高騰や円安の影響が顕著に現れており、仕入れコストの増加や販売価格の調整が求められる等、経営環境が一段と厳しさを増している。
居酒屋	①肉野菜、お酒等の物価高騰が厳しい。
警備業	①様々な価格が高騰しているが、その都度その都度、元請会社との価格交渉ができず、持ち出しとなってしまうタイムラグが発生してしまっている。
事業協同組合(鉄)	①物価高騰と円安の影響は利益を圧迫している。米国のトランプ政権による関税引き上げが日本に及ぼす影響も心配である。 ③デジタル化・業務の効率化も喫緊の課題であると感じているがそれに対応できる人材が不足している。
農産物(卸・加工)	①暮の需要が物価高騰の影響を受け果物の様な嗜好品よりも生活必需品に回ってしまい昨年よりも売上が減少している。
社会保険労務士	③来年から労働者死傷病報告の電子申請が義務化されるので、入力支援サービスの活用を試みている。
木製品(製)	④アメリカの大統領が変わる来年 1 月以降、関税等輸出関連で大幅な変更が無いことを望んでいます。
税理士	④トランプ政権で関税問題で自動車産業に大きな影響がないか懸念される。
事業協同組合(ものづくり)	④北米の関税動向による輸出への影響が気になる
社会保険労務士	⑤パート労働者の働き方について、社会保険の扶養及び税務上の扶養の兼ね合

	いから、パート労働者との話し合いが必要になっている。
サッシ・ドア(製)	⑤夏以降、受注量が戻りつつあったが年末から来年の仕事はあまりない。
鋳材(卸)	⑤車のモデルチェンジなどで金関連企業の受注が一時的に増加した
税理士	⑤中小企業の経営者は自己の経営の強みがわからない人が多い。自己経営の進め方の理解が難しく、付加価値の上げ方に苦労しており、接し方が難しい。
事業協同組合(鍍金)	⑤不祥事で停滞していた自動車関連の受注が増加回復してきた

以　上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2024 年 12 月期調査結果（2025 年 2 月発表分）

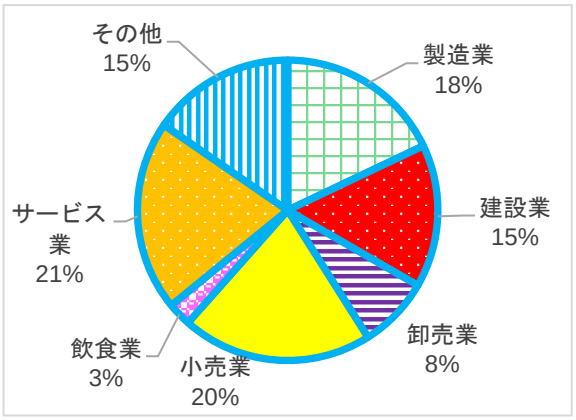
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024 年度景気ウォッチャー調査員（69 名）を対象に、ＷＥＢアンケート調査を行いました。

回答者数は 37 名（回答率は 53.6%）

業種	回答者数	構成比
製造業	7	17.9%
建設業	6	15.4%
卸売業	3	7.7%
小売業	8	20.5%
飲食業	1	2.6%
サービス業	8	20.5%
その他	6	15.4%
計	39	100%

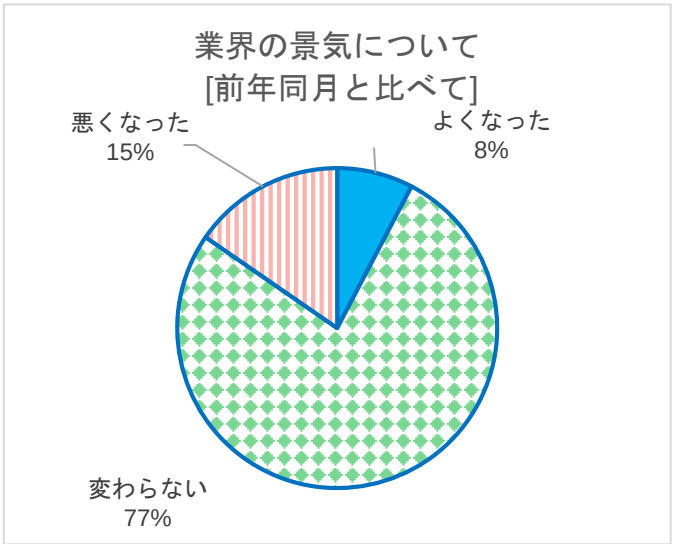


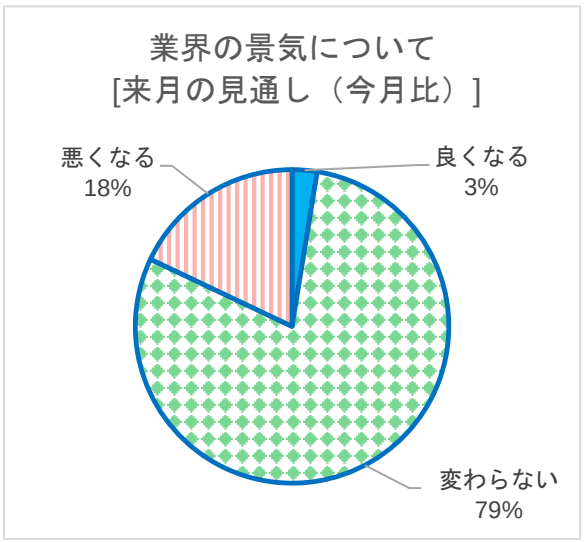
調査結果のポイント

＜景況＞

・2024 年 12 月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が 7.7%、「変わらない」が 76.9%、「悪くなった」が 15.4%となりました。

・2025 年 1 月以降の見通しについて、12 月と比較して、「よくなる」が 2.6%、「変わらない」が 79.5%、「悪くなる」が 17.9%となりました。

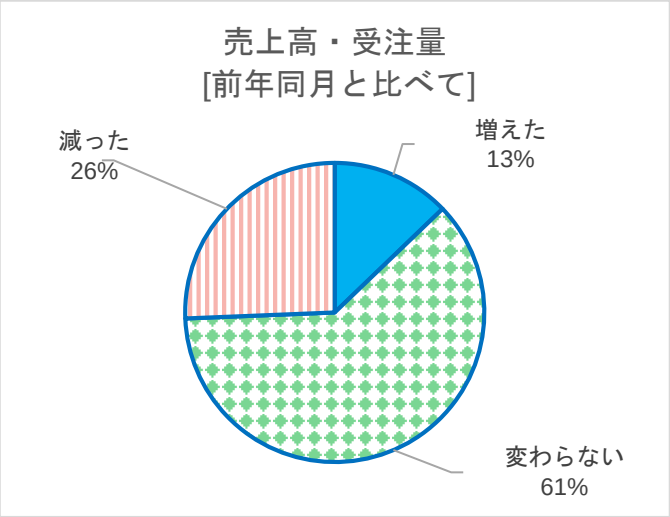


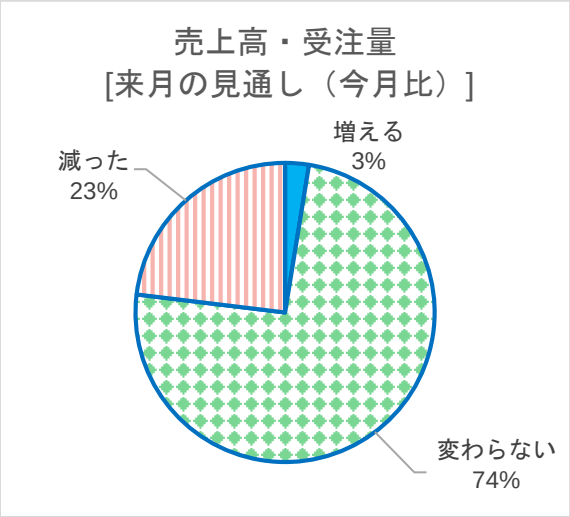


＜売上高・受注＞

・2024 年 12 月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が 12.8%、「変わらない」が 61.5%、「減った」が 25.6%となりました。

・2025 年 1 月以降の見通しについて、12 月と比較して、「増える」が 2.6%、「変わらない」が 74.4%、「減る」が 23.1%となりました。





【景気動向 DI（毎月版）】

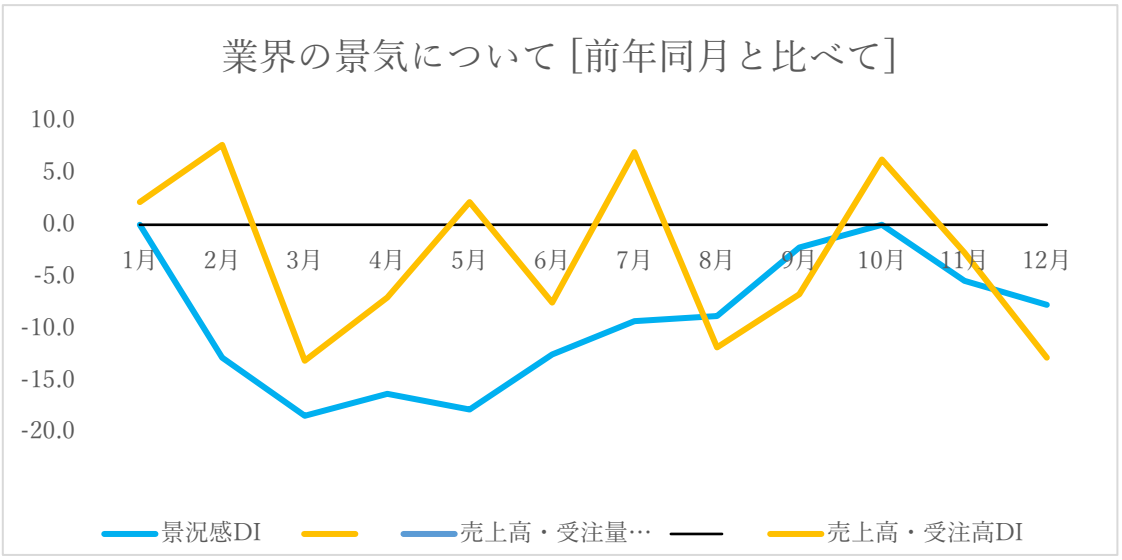
＜概要＞

景気ウォッチャー調査員６９名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高の DI 値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0 より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

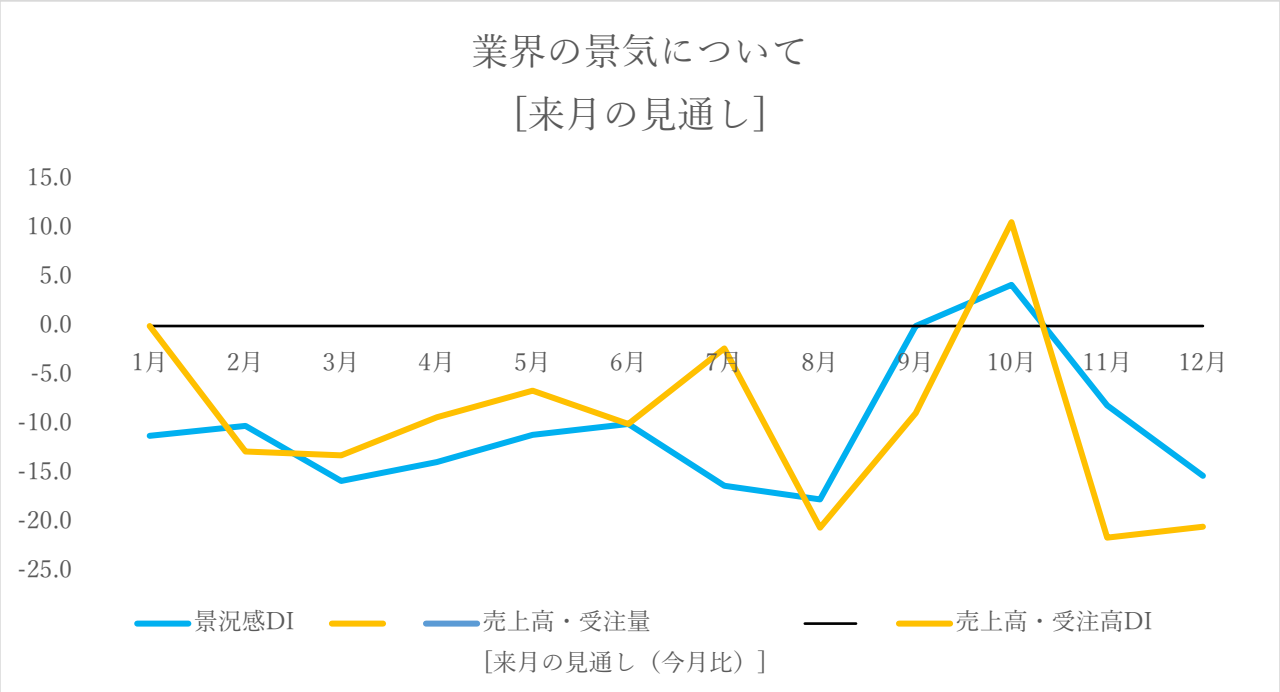
2024 年 1 月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



業界の景気について［来月の見通し(今月比)］												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
景況感DI	-11.2	-10.2	-15.8	-13.9	-11.1	-10.0	-16.3	-17.7	0.0	4.2	-8.1	-15.3

売上高･受注量［来月の見通し(今月比)］												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高･受注高DI	0.0	-12.8	-13.2	-9.3	-6.6	-10.0	-2.3	-20.6	-8.9	10.6	-21.6	-20.5

2024 年 1 月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について
[来月の見通し(今月比)]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
景況感DI	-11.2	-10.2	-15.8	-13.9	-11.1	-10.0	-16.3	-17.7	0.0	4.2	-8.1	-15.3

売上高･受注量
[来月の見通し(今月比)]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高･受注高DI	0.0	-12.8	-13.2	-9.3	-6.6	-10.0	-2.3	-20.6	-8.9	10.6	-21.6	-20.5

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
鋳材(卸)	受注減の為、経営は苦しくなる。
税理士	職人が不足していると聞いている。
自動車タイヤ(小)	ダンロップが 2025 年 4 月より値上げを発表したことで、他のメーカーが値上げをするかが今の関心事。
鉄骨工事業	仕事量が全体的に少ない状況のため、案件ごとに価格競争が激しくなってきている。資材価格はやや下がりつつあるが、人件費、外注費、消耗品が上がっているので原価管理を徹底していきたい。
警備業	警備業では、経営者の高齢化に伴い、事業を縮小する会社が現れてきた。
ディスプレイ業	イベントや展示会などの業務は 1 月～4 月まで落ち込む予定。
サッシ・ドア(製)	夏以降持ち直したと思われた受注量がまた減少した。過去一番に悪い。
事業協同組合(青果)	野菜の高騰が続いているので品薄感が心配である。
家庭電化製品(販)	家電業界は、エアコンが 1 番の主力商品になり、テレビ等のデジタル商品の販売は、低下してゆく方向。
事業協同組合(石油)	12 月のガソリン販売数量は前年より若干減少した。政府の補助金支給が 12 月 19 日に約 5 円程度減少したため、販売金額は同額増加した。1 月 16 日も同様となるため、今後の販売数量への影響が懸念される。
実業団体(税務)	会員の DX 化への対応が難しい。

事業協同組合(機械)	中小企業は絞った雑巾を更に絞られて現状均衡経営している。賃上げ余力はあまりないと思うが、国・経団連等の大企業並みの賃上げは、そもそも出来ない．淘汰したいのか?企業として残ってもらいたいのか?政治主導の賃上げはそもそも、何の根拠も見いだせない。
事業協同組合(鉄)	ホンダと日産の統合による部品メーカーの再編、さらにソフトウェア開発も心配な材料である。2025 年もエネルギー価格の高騰、価格転嫁の交渉等心配である。
注染ゆかた(加)	物価高を実感する。それに合わせての賃上げの必要性も感じている。
燃料(小)	トランプ氏の大統領復帰が原油価格の下落に拍車を掛ける懸念が高まっている。高値安定で推移しているガス価格の下落が期待出来るという点のみにおいては、歓迎する。
資材（卸）	業界全体として、単なる卸売りでは厳しい状況を脱却できない為、差別化が急務。
業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
税理士	①物価高騰による部材の継続的値上げが想定される。
楽器(製)	①物価高騰は収まる気配すらなく、先行きが思いやられる。世の中全体的に物価が高騰しているため、値上げには納得をしてもらっているとは思うが、あまりいい状態とは思えない。
ディスプレイ業	①外注先からの値上げ交渉も多々あり、当社も値上げに踏み切った。
事業協同組合(鉄)	①円安の影響が続いており、加工単価の値上げ交渉はかなり難しくなる情勢。米国のトランプ政権による関税の引き上げも心配だが、ホンダと日産の統合協議による下請けメーカーへの影響も懸念材料である。
資材（卸）	①物価高騰による影響強く、価格転嫁出来ず厳しい
社会保険労務士	②求人をしても、人材が集まらない。特に資格を必要とする業務の人材が集まりにくい。
経営コンサルタント	②今年はインバウンド客が増えそう。このため観光業界や人材の供給不足により、人材確保が難しくなりそう。
税理士	③ChatＧＰＴ等ＡＩが活用される時代となり、業務にも活用できるため自分の職域までも侵害される不安もあります。
警備業	③警備業界でも、e ラーニングでの講習等、各種申請事のデジタル化、等々のＤＸの運用が活発になってきている。
税理士	③DX 化、CO2 減少化を進めたくても社内の共有化の難しさに直面している。また売上 UP していても資金繰りに良い傾向が出ていない。
木製品(製)	④トランプ大統領就任後の変化を注視している。
事業協同組合(機械)	④トランプ関税による日本のメキシコ工場の撤退等が影響あるかも。
事業協同組合(ものづくり)	④米国の輸入品に関する関税動向が不透明で、日本への影響が不安である。
鋳材(卸)	④国内、国外共に経済状況は良くないので、新規の製造機械類の受注は低調
社会保険労務士	⑤一時的に手間を増やした定額減税事務がやっと終わる。真の減税は基礎控除引き上げで願いたい。

以　上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2025 年 1 月期調査結果（2025 年 3 月発表分）

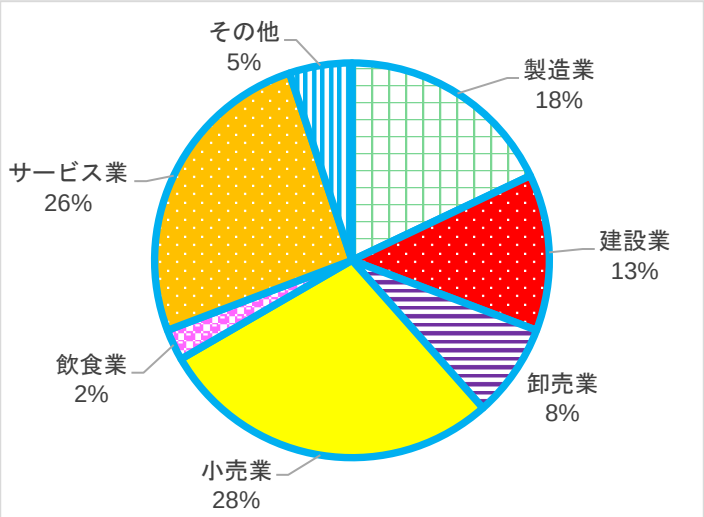
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024 年度景気ウォッチャー調査員（69 名）を対象に、ＷＥＢアンケート調査を行いました。

回答者数は 39 名（回答率は 56.5%）

業種	回答者数	構成比
製造業	7	17.9%
建設業	5	12.8%
卸売業	3	7.7%
小売業	11	28.2%
飲食業	1	2.6%
サービス業	10	25.6%
その他	2	5.1%
計	39	100%

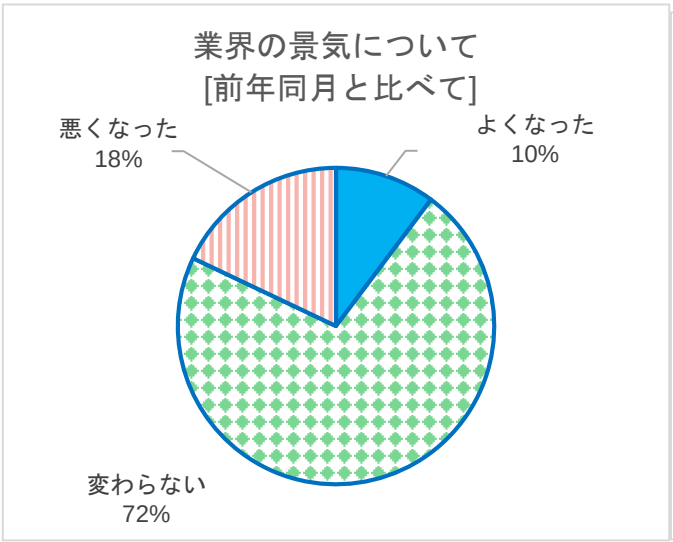


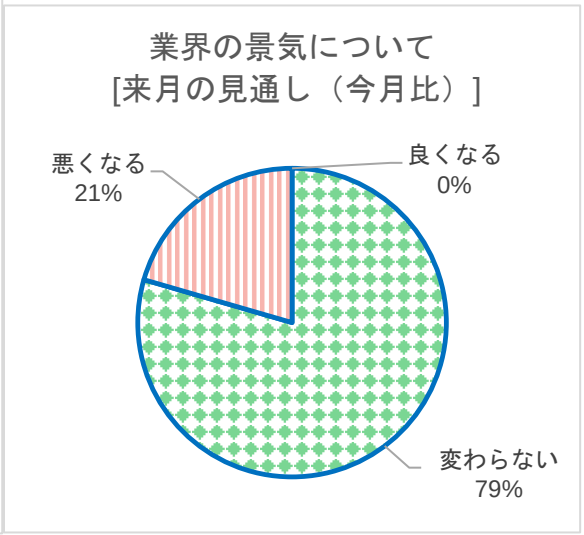
調査結果のポイント

＜景況＞

・2025 年 1 月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が 10.3%、「変わらない」が 71.8%、「悪くなった」が 17.9%となりました。

・2025 年 2 月以降の見通しについて、1 月と比較して、「よくなる」が 0.0%、「変わらない」が 79.5%、「悪くなる」が 20.5%となりました。

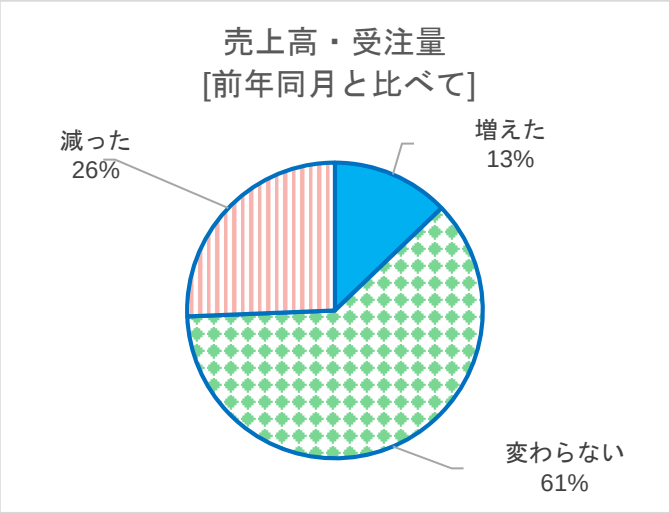


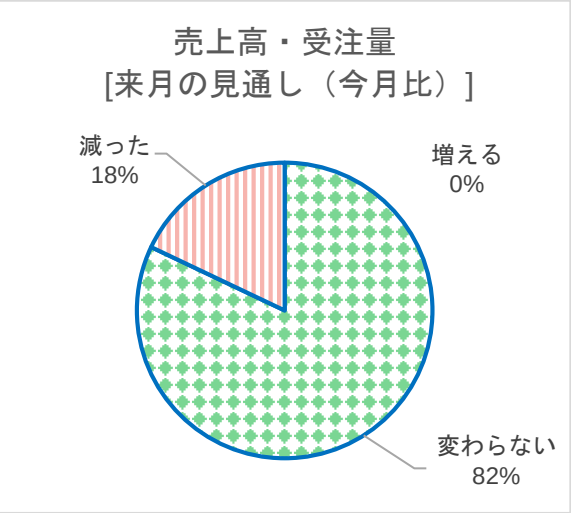


＜売上高・受注＞

・2025 年 1 月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が 12.8%、「変わらない」が 61.5%、「減った」が 25.6%となりました。

・2025 年 2 月以降の見通しについて、1 月と比較して、「増える」が 0.0%、「変わらない」が 82.1%、「減る」が 17.9%となりました。





【景気動向 DI（毎月版）】

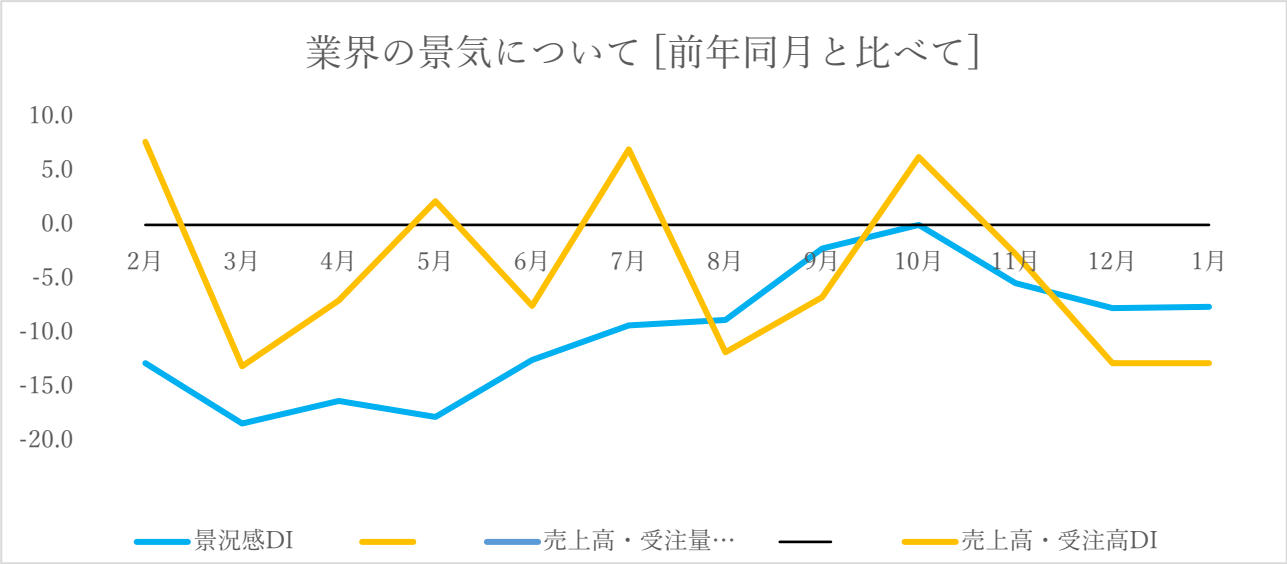
＜概要＞

景気ウォッチャー調査員６９名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高の DI 値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0 より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

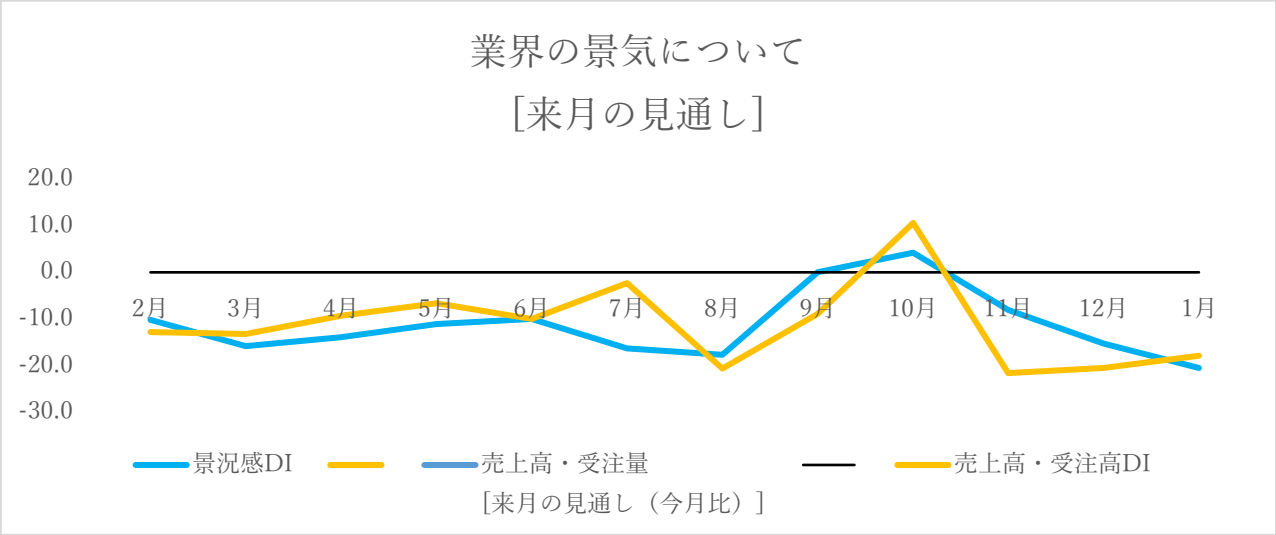
2024 年 2 月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



業界の景気について［前年同月と比べて］												
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
景況感DI	-12.8	-18.4	-16.3	-17.8	-12.5	-9.3	-8.8	-2.2	0.0	-5.4	-7.7	-7.6

売上高・受注量［前年同月と比べて］												
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
売上高・受注高DI	7.7	-13.1	-7.0	2.2	-7.5	7.0	-11.8	-6.7	6.3	-2.7	-12.8	-12.8

2024 年 2 月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について
[来月の見通し(今月比)]

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
景況感DI	-10.2	-15.8	-13.9	-11.1	-10.0	-16.3	-17.7	0.0	4.2	-8.1	-15.3	-20.5

売上高･受注量
[来月の見通し(今月比)]

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
売上高･受注高DI	-12.8	-13.2	-9.3	-6.6	-10.0	-2.3	-20.6	-8.9	10.6	-21.6	-20.5	-17.9

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
自動車(小・修)	自動車は国内個人向けの販売台数が減っている気がする。代替え需要のない分が整備売上に回っている感じがする。
鋳材(卸)	製造機械の受注減に寄る鋳造業界業界の低迷。
税理士	同業者の外国人採用による原価圧縮で価格競争に勝てない。
祭用品(小)	業界全体、特に縫製する人不足である。
税理士	人手を雇用したいが 6 か月先・1 年先の見通しがつかない。
楽器(製)	インバウンドでの需要が少しずつ増えてきている。他地域でのインバウンド需要が発生してきているのは大きい。
茶(加・小)	ペットボトル用のお茶の原料や、量販店で販売用のお値打ちな緑茶の原料が品薄。静岡では小規模・中規模の農家や製茶業が、割に合わないと手を引いた事も大きな要因の 1 つ。逆に更なる大規模化にすれば儲かるのではと考える、九州の製茶業は活力がみなぎっている話しも聞く。
木製家具(製)	浜松市内での仕事が薄く、無理して遠い（東京、大阪)などの仕事をうけている為経費がかさんでいる。
電気機械器具（小）	パナソニックの事業再編について、業界で関心が高まっている。
事業協同組合(石油)	1 月のガソリン販売価格は、政府の補助金支給の縮小により１２月上旬に比べ約１０円上がった。この影響を受け、販売数量は前年に比べ減少した。
事業協同組合(機械)	大企業の賃上げに対して中小企業はそもそも財源がない。
事業協同組合(鉄)	ホンダと日産の統合による部品メーカーの再編、EV の動向等、不安材料は多い。
事業協同組合(ものづくり)	労務費の増加による経費負担が大きくなっている。

資材（卸）	業界的には物販に先が見えない為、別業態への進出が必要不可欠だと感じる。
建築設計業	昨年の能登半島地震以来、木造住宅の耐震補強に関する相談や依頼が多い。静岡県の事業としては令和 7 年度が補助金交付の最終年度となっているので、年度初めの 4 月に向けた申請希望者が多くなっている。
業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
茶(加・小)	①仕入れと経費が上がり、売価を上げ、税金も上がる。毎月のように繰り返されるこの仕組みに、ついにお客様が慣れはじめて値上げについて言及しなくなった。
資材（卸）	①物価高騰により、小規模事業者はこの先かなり厳しい時代がくるだろう。
事業協同組合(鉄)	①自動車関連は一部回復基調にあるが全体的にはまだまだである。昨年度から物価高騰と円安の影響は利益を圧迫している。米国のトランプ政権による関税の引き上げ、その他の政策が各国に及ぼす影響、ひいては中小企業へも波及してくることも心配である。
税理士	②人手不足が常態化し、求人は中小企業では人材紹介業者を利用しても難しい状況。求人コストは高騰しているが、事業継続を考えると支出はやむを得ない。今まで以上に社員を定着させる対策も必要になってくる。
木製家具(製)	②いろいろなところで、賃上げの話がでるが、受注、賃金とも、あがってこないし、あげられない。ベニヤも、ここ一年あがらなかったが、6 月に値上げの話がきた。また負担がふえることになりそうだ。
祭用品(小)	②人手不足で商品が作れなくなっている。
事業協同組合(機械)	②人手不足、物価高、トランプ関税の先行き不透明。
社会保険労務士	③今年 10 月で Windows 10 のサポートが終了するという。それまでにパソコンの入替を検討しなくてはならないだろう。
事業協同組合(ものづくり)	④米国の関税対応の動向により、今後の受注に影響が出てくるのか気になる
木製品(製)	④アメリカに輸出の際の関税がどうなるか不透明である。
サッシ・ドア(製)	⑤相変わらず、仕事量が少ない
社会保険労務士	⑤労働者の多様性を意識的に取り入れるための対策を立てているが、社風、部門及び業界によってなかなか定着するには至っていない。
税理士	⑤インボイスで消費税の課税事業者になったがやめたいという人が増えた。

以　上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2025 年 2 月期調査結果（2025 年 4 月発表分）

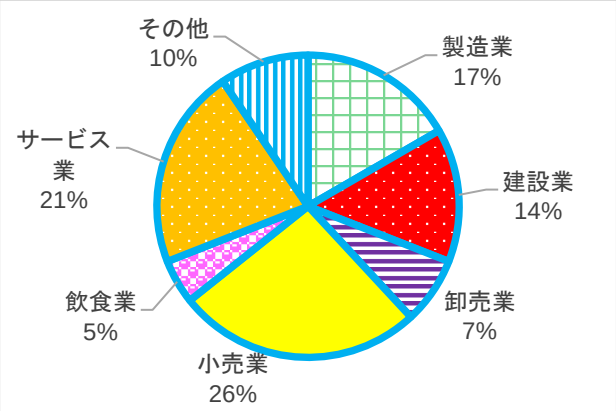
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024 年度景気ウォッチャー調査員（69 名）を対象に、ＷＥＢアンケート調査を行いました。

回答者数は 42 名（回答率は 60.8%）

業種	回答者数	構成比
製造業	7	16.7%
建設業	6	14.3%
卸売業	3	7.1%
小売業	11	26.2%
飲食業	2	4.8%
サービス業	9	21.4%
その他	4	9.5%
計	42	100%

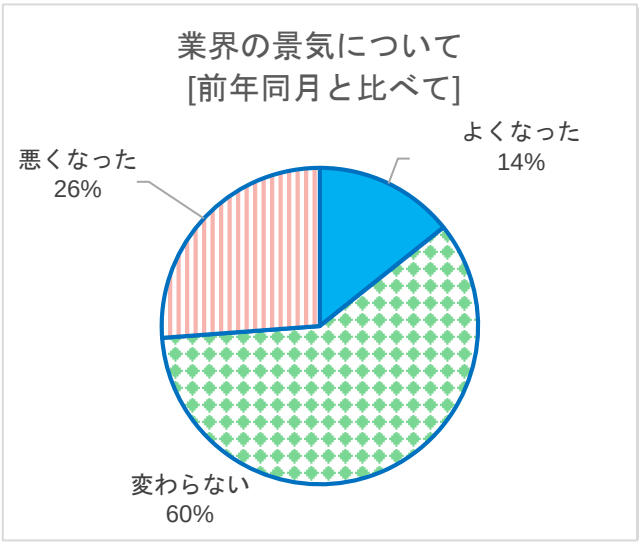


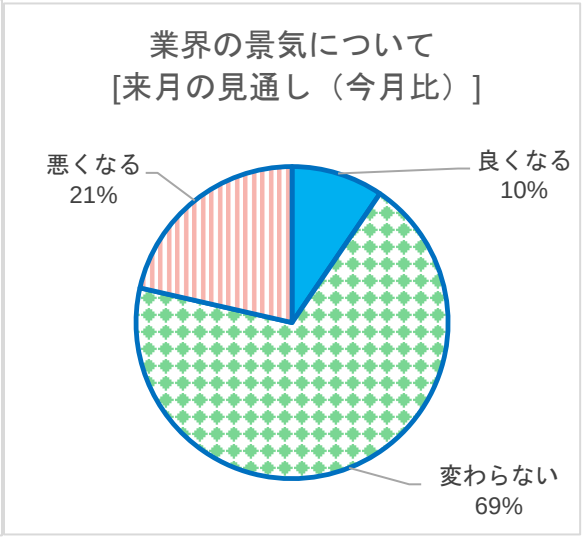
調査結果のポイント

＜景況＞

・2025 年 2 月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が 14.3%、「変わらない」が 59.5%、「悪くなった」が 26.2%となりました。

・2025 年 3 月以降の見通しについて、2 月と比較して、「よくなる」が 9.5%、「変わらない」が 69.0%、「悪くなる」が 21.4%となりました。

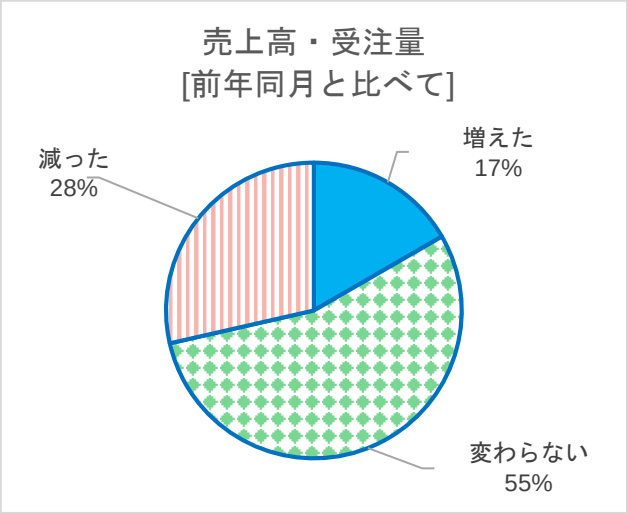


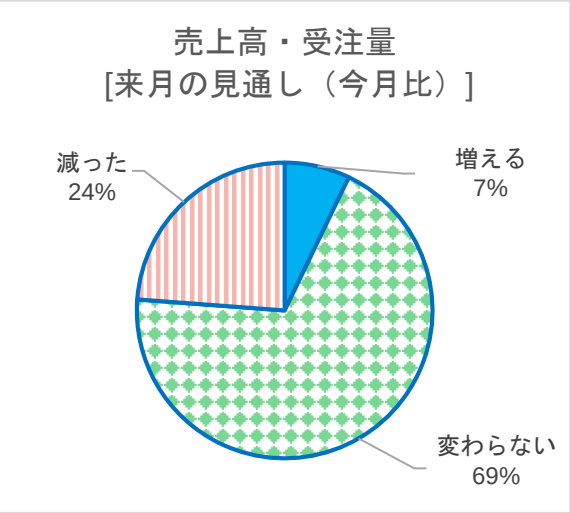


＜売上高・受注＞

・2025 年 2 月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が 16.7%、「変わらない」が 54.8%、「減った」が 28.6%となりました。

・2025 年 3 月以降の見通しについて、2 月と比較して、「増える」が 7.1%、「変わらない」が 69.0%、「減る」が 23.8%となりました。





【景気動向 DI（毎月版）】

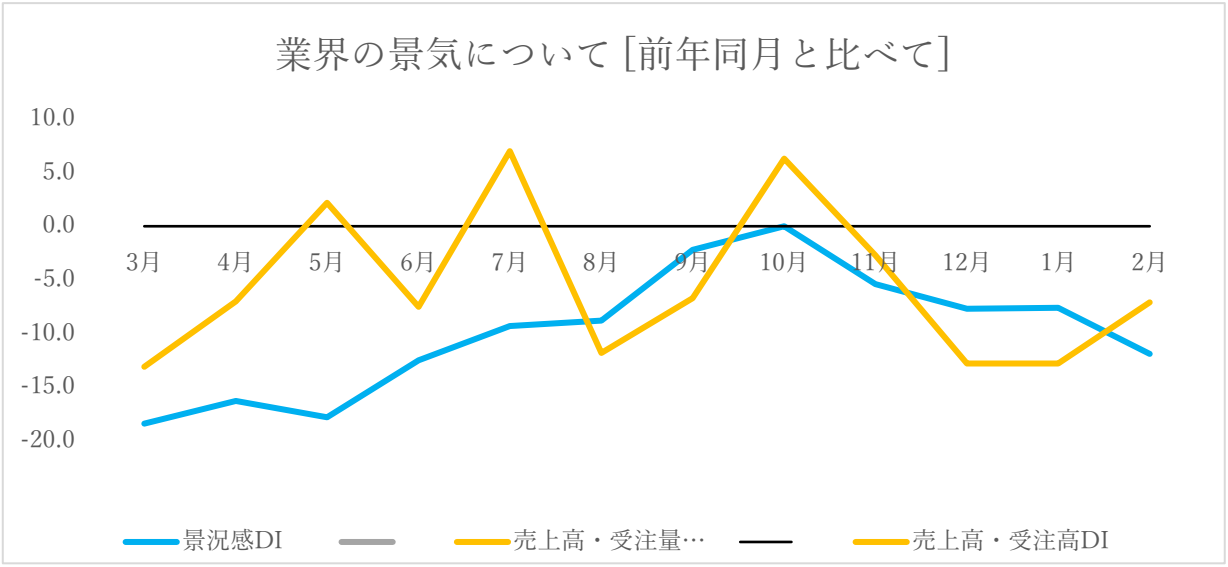
＜概要＞

景気ウォッチャー調査員６９名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高の DI 値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0 より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

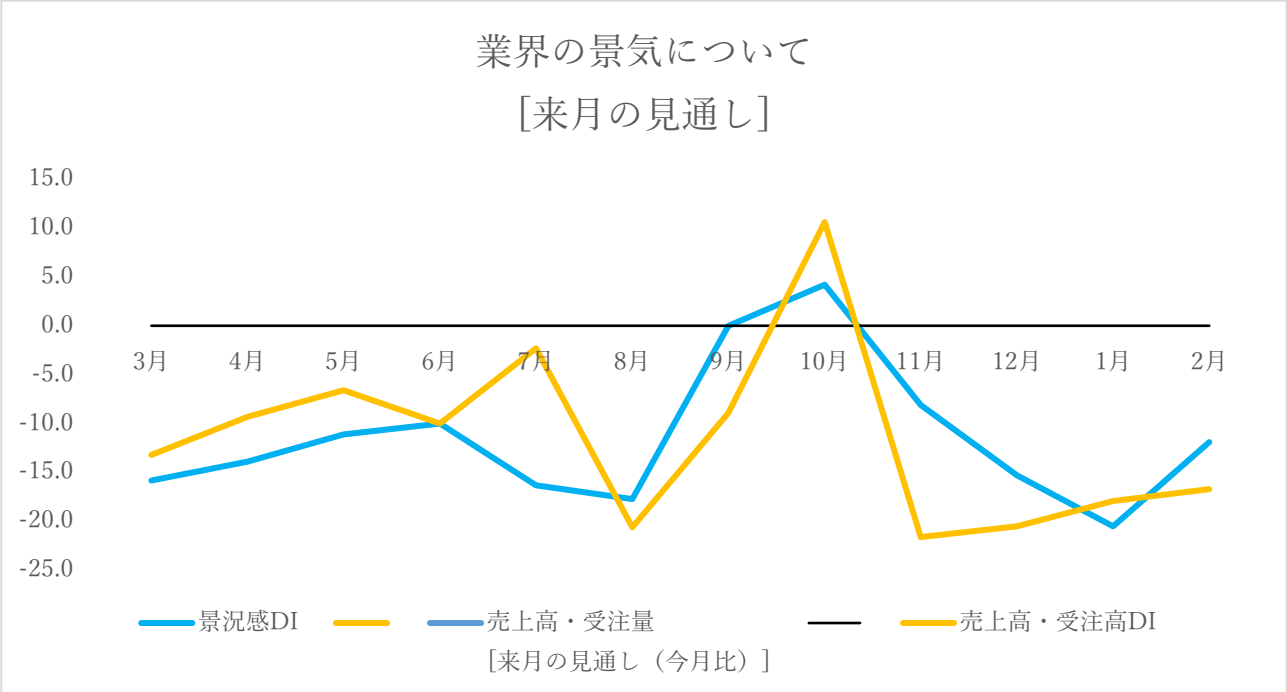
2024 年 3 月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



業界の景気について［前年同月と比べて］												
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
景況感DI	-18.4	-16.3	-17.8	-12.5	-9.3	-8.8	-2.2	0.0	-5.4	-7.7	-7.6	-11.9

売上高･受注量［前年同月と比べて］												
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
売上高･受注高DI	-13.1	-7.0	2.2	-7.5	7.0	-11.8	-6.7	6.3	-2.7	-12.8	-12.8	-7.1

2024 年 2 月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について
[来月の見通し(今月比)]

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
景況感DI	-15.8	-13.9	-11.1	-10.0	-16.3	-17.7	0.0	4.2	-8.1	-15.3	-20.5	-11.9

売上高･受注量
[来月の見通し(今月比)]

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
売上高･受注高DI	-13.2	-9.3	-6.6	-10.0	-2.3	-20.6	-8.9	10.6	-21.6	-20.5	-17.9	-16.7

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
楽器(製)	いろいろな地域からインバウンド向け商品の問い合わせが来ている。
サッシ・ドア(製)	相変わらず受注量は少ない。また単価も安い。
木製家具(製)	いまは年度末にむけて仕事がでているが、4 月以降は読めない。
家庭電化製品(販)	蛍光管の生産が 2027 年に終了するため、問合せやＬＥＤ照明器具へ買替が多い。
一般貨物自動車運送業	燃油・車両価格・人件費などが高騰しており、厳しい状況が続いている。
事業協同組合(青果)	物価高が収まらない影響で小売などがし難くなっている。
事業協同組合(石油)	2 月のガソリン販売数量は、前年に比べ減少した。主要因は①前年が閏年②本年１月より補助金縮小により販売単価が上昇したことによる。
事業協同組合(機械)	人手不足、エネルギー価格を始めとする諸物価高騰、人件費増。
事業協同組合(鉄)	電気料金の高騰、ガソリン価格の高騰等が事業の利益を圧迫する要因も多いが、従業員個人においても電気代、ガソリン代の高騰が生活に不安を与えている。
事業協同組合(ものづくり)	日本発条の事故による生産調整が懸念される。
燃料(小)	ＬＰガス料金補助金支給が決定した。お客様の負担軽減になるので、大変ありがたい施策である。
建築設計業	建設業界では「寒明け着工が吉」とされ、市内にて２月の節分以降に着工したと思われる工事現場の数が増えた感じがする。

業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
木製家具(製)	①物価の上昇はとまらないし、4 月からまた上がるものがあるので、値上げのタイミングがわからない。何回もあげるわけにはいかない。
楽器(製)	①物価高騰は止まらず、いい影響はない。
警備業	②人手不足・人材確保の困難に、経営者の高齢化も加わり、事業継続をしないという警備業者の話を聞くようになった。
一般貨物自動車運送業	②相変わらず人手不足は深刻。同業他社ではなく、他業種も含めて人材確保のための競走となっている。
税理士	②新規雇用のためには賃上げが必要不可欠になっている。その影響で既存社員との給与額のミスマッチが発生し、さらに人件費の増加がおきている。
木製品(製)	④アメリカの関税の見通しが立たない
事業協同組合(機械)	④トランプ関税の自動車部品メーカへ絵の影響
事業協同組合(鉄)	④自動車関連は一進一退の状況が続いている。生産計画は上振れすることもあるが、親会社の輸出シェアの大きい米中が関税の問題も含め不透明なこともあり下振れする懸念もある。
事業協同組合(ものづくり)	④米国関税の見直しにより、今後の事業にマイナス影響を受けるがことが懸念される。
資材（卸）	④トランプ政権の動きで為替や原油など様々なところへ影響が出るので恐怖を感じる
税理士	⑤所得税について、利益が出ても所得控除と定額減税で消すことはできても、払える資金がない人が増えた。
社会保険労務士	⑤退職金積み立て掛金を増額改正することを従業員へ周知をすることにより、安定雇用への改革を進めている。
社会保険労務士	⑤この春から健康保険・介護保険・雇用保険の保険料率が下がる。わずかな減額ではあるが、伝える役としては多少荷が軽い。
茶(加・小)	⑤浜松市もようやく観光やインバウンドのお客様がこられはじめた。

以　上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2025 年 3 月期調査結果（2025 年 5 月発表分）

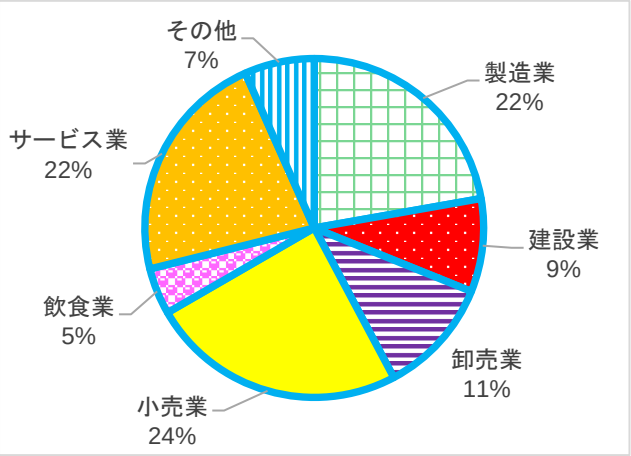
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024 年度景気ウォッチャー調査員（64 名）を対象に、ＷＥＢアンケート調査を行いました。

回答者数は 45 名（回答率は 69.2%）

業種	回答者数	構成比
製造業	10	22.2%
建設業	4	8.9%
卸売業	5	11.1%
小売業	11	24.4%
飲食業	2	4.4%
サービス業	10	22.2%
その他	3	6.7%
計	45	100%

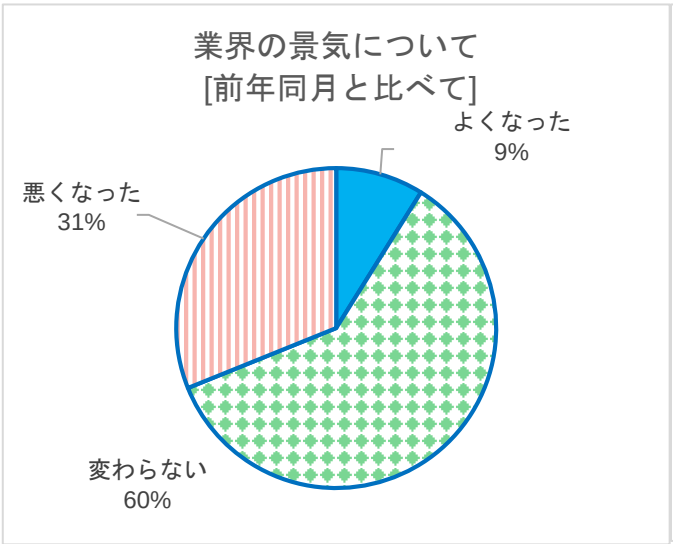


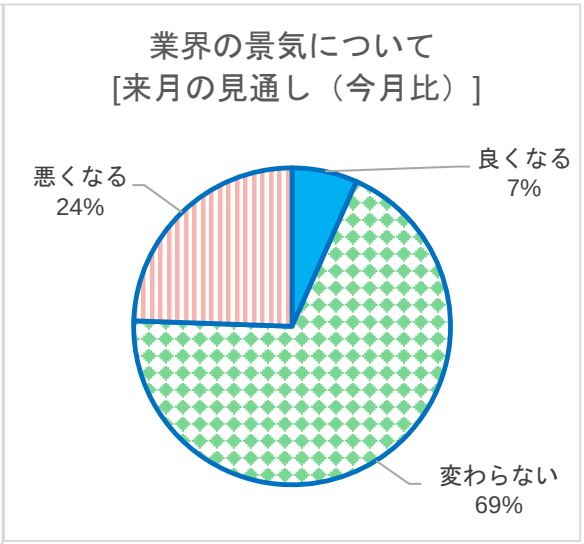
調査結果のポイント

＜景況＞

・2025 年 3 月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が 8.9%、「変わらない」が 60.0%、「悪くなった」が 31.1%となりました。

・2025 年 4 月以降の見通しについて、3 月と比較して、「よくなる」が 6.7%、「変わらない」が 68.9%、「悪くなる」が 24.4%となりました。

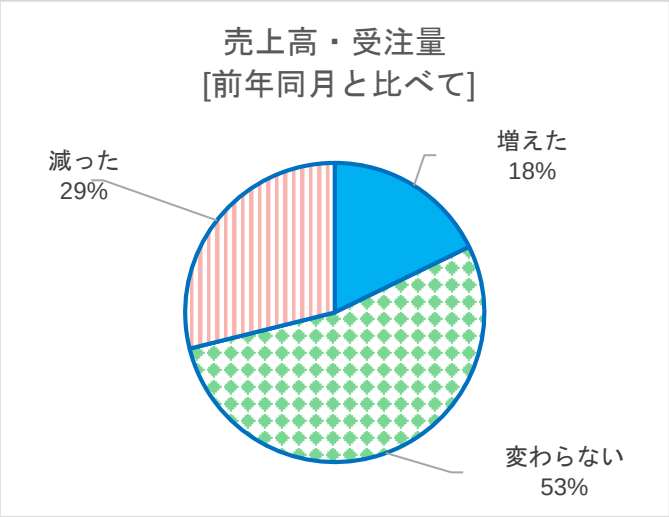


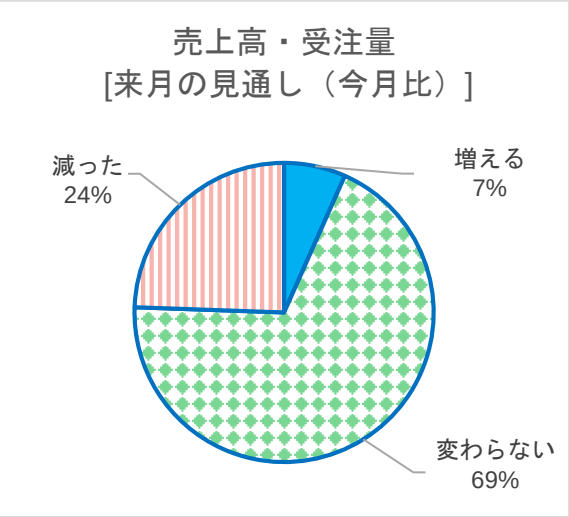


＜売上高・受注＞

・2025 年 3 月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が 17.8%、「変わらない」が 53.3%、「減った」が 28.9%となりました。

・2025 年 4 月以降の見通しについて、3 月と比較して、「増える」が 6.7%、「変わらない」が 68.9%、「減る」が 24.4%となりました。





【景気動向 DI（毎月版）】

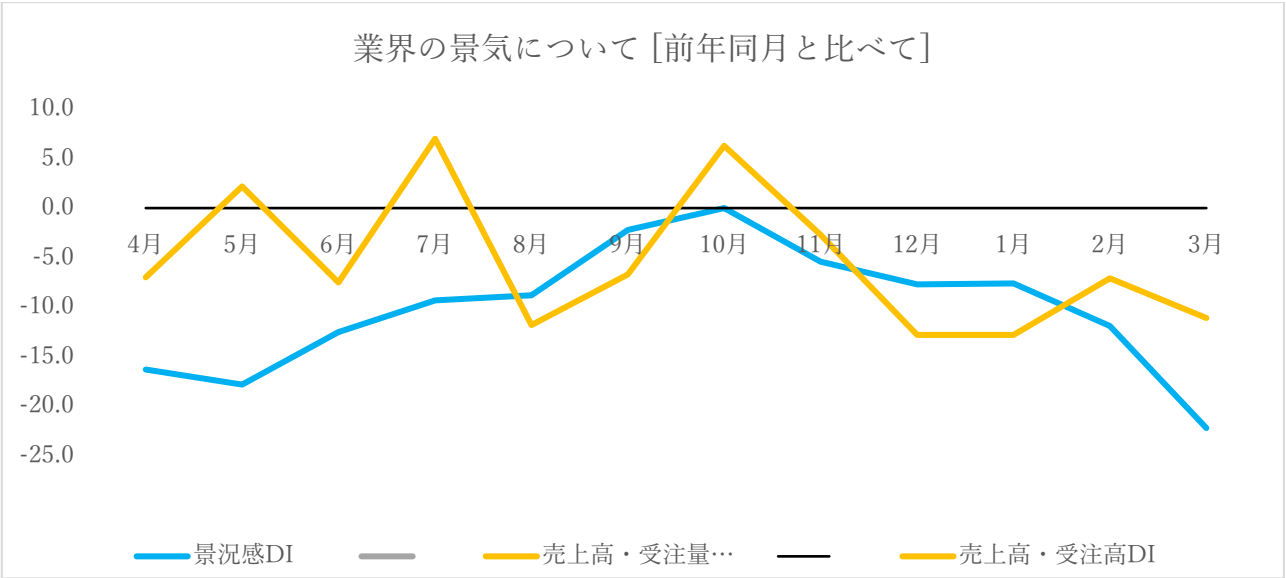
＜概要＞

景気ウォッチャー調査員６９名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高の DI 値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

⇒0 より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

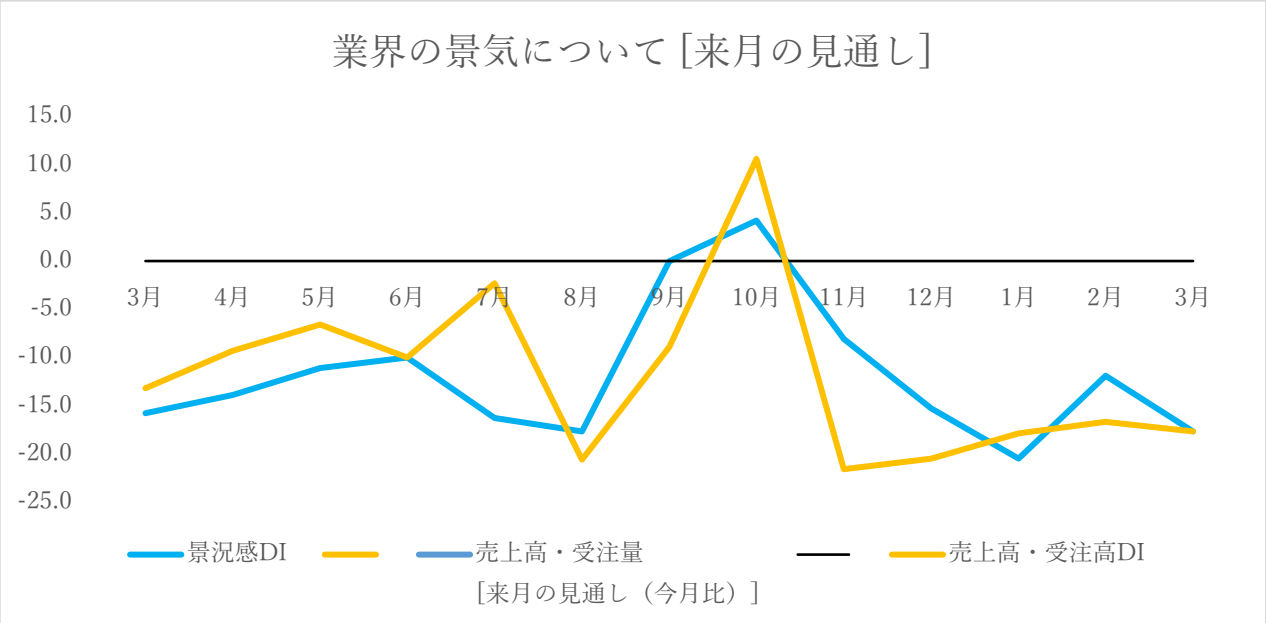
2024 年 4 月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



業界の景気について［前年同月と比べて］												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
景況感DI	-16.3	-17.8	-12.5	-9.3	-8.8	-2.2	0.0	-5.4	-7.7	-7.6	-11.9	-22.2

売上高･受注量［前年同月と比べて］												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上高･受注高DI	-7.0	2.2	-7.5	7.0	-11.8	-6.7	6.3	-2.7	-12.8	-12.8	-7.1	-11.1

2024 年 3 月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について [来月の見通し(今月比)]													
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
景況感DI	-15.8	-13.9	-11.1	-10.0	-16.3	-17.7	0.0	4.2	-8.1	-15.3	-20.5	-11.9	-17.7

売上高･受注量 [来月の見通し(今月比)]													
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上高･受注高DI	-13.2	-9.3	-6.6	-10.0	-2.3	-20.6	-8.9	10.6	-21.6	-20.5	-17.9	-16.7	-17.7

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
鋳材(卸)	工作機械や木工機械の製造が低迷している
税理士	十分な価格転嫁ができていない
祭用品(小)	業界・地域ともに働く人の高齢化に伴い生産性が落ちている。
警備業	警備業の特に交通誘導警備では、年度末・年度始は工事の発注が減る。そのため、既存の警備員で対応するので、警備員の求人を一時止めている会社が多い。発注機関への年発注工事の平準化を警備業界として強く嘆願はしている。
税理士	収入減を得るため、色々な業種を手掛けるため、消費税の業種分類でトラブルが目立つ。
楽器(製)	最近インバウンド関連の問い合わせが増えてきて浜松以外での仕事が増えた
社会保険労務士	最近また詐欺まがいの営業電話が増えてきた。0120 が表示された時は出ないにしているが、携帯番号からだとそうもいかない。忙しいときに限って掛かってくるのは何故だろう？
ディスプレイ業	３月が年度末ということもあり、若干の駆け込み需要などがあり売上増加した。
木製家具(製)	賃上げはしたい、休みは取れ、納品はまにあわせたい、葛藤はつづいている
物流運搬設備(製)	年度末に向け忙しくなったが、その反動が出てくるのではと危惧している。
家庭電化製品(販)	今年は、早く暑い日が来るとの予想です。エアコン商戦に期待したい。
事業協同組合(石油)	3 月のガソリン販売数量は、前年に比べ減少した。主要因は補助金縮小により販売単価が上昇したことによる。 政府による補助は当面継続されるが、暫定税率廃止等の動向も含め今後が懸念される。また、トランプ米政権による関税措置などの経済政策が及ぼす影響も危惧される。
居酒屋	浜松祭りの関係者の飲みが増える見込み。

事業協同組合(鉄)	自動車関連の下請け企業が多く、アメリカの関税強化も今後かなり影響してくる懸念がある。さらにガソリンを含む燃料費の高騰が利益を圧迫しており、給与アップにも取り組む必要等、解決しなくてはならない問題が山積している。
梱包資材(卸)	ネットとの価格比較が益々ひどくなっており、担当変更などでより若い担当者がネットを使用することが増えている。
建築設計業	静岡県の２月の住宅着工統計が発表された。前年同月比で-11%でした。地域別では、中部が-34%に対して、西部は+7.7%となっている。少し前は、西部の着工数が低かったのが、今回は盛り返しているようだ。
業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
鋳材(卸)	①円安の影響で販売量が低下している
木製家具(製)	①仕事量は増えているが、4 月のあらゆる値上がりで変化があるかはまだわからない。3 月までの発注で、上がる前にとの考えがあるのか。5 月以降の落ち込みがなければいいがと懸念される！
実業団体(税務)	①すべての品目で物価高騰しているため予測がつかない
注染ゆかた(加)	①物価高騰を強く感じている。資材の高騰が続いている。
家庭電化製品(販)	①電気料金の高騰は、痛いです。
祭用品(小)	②人手不足により商品が思うようにできなくなっております。
ディスプレイ業	②中小企業に対して、特定の業種ではなく、すべての業種に従業員に対する賃上げを行うための補助制度がほしい。
事業協同組合(鉄)	②新年度も思うような人材確保（新卒採用）もできておらず、従業員の高齢化が進んでいる。 ④アメリカのトランプ政権による自動車関税強化による景気後退が懸念される。また部品、工具等、物価の高騰が利益を圧迫している。
物流運搬設備(製)	②人手不足を口にする先が増えたように思う。研修生を入れようか考えている。
web サイト制作	③会議などのハイブリッド配信の業務は、コロナ明けも減ったが、半分は残っている。
警備業	③警備業には法定で定められたことが多くあるが、教育ではeラーニング等、許可・申請等もＷＥＢから等々、デジタル化が急速に取り組まれ実行されている。ただ、デジタル化に対応できない方々も未だ多くいるので、その方々へは従来通りとなっており、デジタル化１００％まではまだまだ時間がかかりそう。
社会保険労務士	③テレワークの廃止・縮小の検討をしている事業所が増えてきた。先ずは、承認制を採用しながら段階的に縮小していく傾向が強い。
社会保険労務士	③年度の変わり目は手続き業務が増えるのだが、e-Gov のサーバーが貧弱なせいか毎年のように電子申請がエラー中断し、業務の効率化にならない。
梱包資材(卸)	④アメリカの関税の今後の影響力が不透明な為不安
事業協同組合(ものづくり)	④米国の関税問題により、受注に影響がでてくるのか先行きが不透明である
木製品(製)	④アメリカの関税率変更による影響がどの程度あるか。
税理士	⑤人件費をはじめとした必要経費の増加は今後も続くことが予想される。事業継続にはとにかく売上をいかに確保するか、増やしていくかに尽きる。
サッシ・ドア(製)	⑤どんな業種に聞いても、いい話を全く聞かない

以　上